

交通安全施設等整備事業

野外トイレ(君田村)新築工事

広島県土木建築部都市局営繕課

課長	主幹	課長補佐	係長	係員	設計者
					1級建築士(登録

号)
⑩

工事名

図面内容・縮尺

設計
平成 年

図面番号

交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事仕様書

I 工事概要 (工事名称:交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事)

1. 工事場所 広島県広島市東区君田 331-1
2. 敷地面積 246.485
3. 工事種目 新築
延面積 56.53 m²
電気設備工事一式
機械設備工事一式
外構工事一式

4. 別途工事
合構式浄化槽設置工事一式

5. 工事妨害に対する措置

- ア. 暴力団から工事妨害の被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告するとともに被害届を速やかに警察に提出すること。
- イ. 警察から被害届受理証明書が交付され、かつ、工程の調整を行ったにもかかわらず工期が遅れが生ずるおそれがある場合は、建設工事請負契約約款(以下「約款」という。)第21条の規定による工事延長申請書に当該証明書を添付して提出すること。
6. 原状復旧
工事に際し、隣接建物等に損傷を与えた場合は、速やかに原状復旧を行うこと。
7. (1) この工事の施工に際して資材を購入し、又は賃借を得る工事の一部(主体的部分を除く)を、第三者に譲渡せしめたりする場合は、極力広島県内に主たる営業所を有する業者に発注することとする。
(2) 主要資材を購入し、又は賃借するときは、あらかじめ購入先の名前、所在地、及び資材名等を発注先に通知することとする。

II 建築工事仕様

1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部監修、建築工事共通仕様書(平成5年版)による。
2. 特記仕様
 - (1) 項目は番号に○印のついたものを適用する。
 - (2) 特記事項は○印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と◎印のついた場合は共に適用する。
 - (3) 特記事項に記載の()内表示番号は、建築工事共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
 - (4) 材料および製造所等の記載順序は不同である。

章	項目	特記事項
① 法規制	① 敷地の位置	都市計画区域 ・内(市街化 市街化調整) ○外 用途地域 ・第一種住居専用・第二種住居専用・住居・近隣商業・商業 ・準工業・工業・工業専用○指定なし 防火地域 ・防火・準防火○指定なし その他の区域・地域・地区・街区
	① 適用基準等	○ 建築工事標準詳細図 建設大臣官房官庁営繕部監修(平成5年版) ・ 鉄骨設計標準図 建設大臣官房官庁営繕部監修(平成2年版) ○ 建設工事公衆災害防止対策要綱 (1.2.6) ○ 営繕工事再生資源活用実施要綱 (1.1.10) ○ 建設副産物適正処理推進要綱 (1) 現場説明事項(追加説明、質疑応答を含む) (2) 特記仕様書 (3) 設計図書 (4) 建築工事共通仕様書
① 一般共通事項	② 設計図書の優先順位	(3) 設計図書 (4) 建築工事共通仕様書
	③ 電気保安技術者 ④ 技能士	・ 適用しない ○ 適用する (1.2.3) ○ 適用しない (1.5.2) ○ 適用する
① 一般共通事項	⑤ 建築材料等	建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等以上とする。 ただし、同等以上とする場合は、監督員の承認を受ける。
	⑥ 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承認を受けて、当該製品の指定工法による。
① 一般共通事項	⑦ 発生材の処理	◎ 引渡しを要しない ○ 引渡しを要するもの() (1.1.10) ・ 指定副産物の搬出 ・ アスファルトコンクリート塊・セメントコンクリート塊・建設発生木・建設発生土 ・ 上記以外の発生材 1.1.10(c)による
	⑧ 実施工程表	◎ 作成する ○ 作成しない (1.3.1) 工事期間は、建築設備も含んだ期間であり、実施工程表作成は全体工事を配慮し、監督員の承認を受ける。
① 一般共通事項	⑨ 工事写真	下記のものを監督員に提出する。 工事中写真の撮影は「営繕工事写真作成要領」によるものとする。 (1) 工程写真 工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真(カラー・サービス版)を期間別工事工程報告書に添付するものとする。 (2) 工事中写真 水中又は地下に埋没される部分、その他完成後外部から検査または確認することが出来なくなる部分、その他監督員の指示する箇所はA4版写真台紙(カラー・サービス版)にまとめて、完成検査日までに1部提出するものとする。 (3) 完成写真 建物外観各方向主要箇所及び主要室内、その他監督員の指示する箇所(カラー・キャビネット版以上)提出部数 A4版写真台紙 2部、アルバム 4部 (4) その他の写真 隣接建物等に損傷のおそれのある場合は、施工前、施工後の写真(カラー・キャビネット版)を監督員の指示により提出するものとする。尚完成写真の原画を用い、外部4面、内部15面をキャビネット版(カラー)にて4部を焼付提出する事。(製本不要) (5) 保管 工事写真のネガは工事完成後、請負者において2年間保管するものとする。 完成写真の撮影業者 ※ 監督員の承認する撮影業者
	⑩ 設備工事との取合い	施工範囲 ※ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ※ 図示した壁、天井仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※ 自動閉鎖装置取付箇所の切込み及び補強
① 一般共通事項	11 統括安全衛生管理責任者の指名	労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事における工事現場に規定する工事について関係者に限り規定する措置を講ずるべきとして本工事現場代理として指名する。 当該指名は本契約後速ちに統括安全衛生管理責任者(任意様式)を提出すること。

章	項目	特記事項
① 工程報告書 ② 保証書	別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月2回1部提出すること。 次の工事について保証書を提出すること。	
	工事区分	材料名 保証年数 備考
① 完成図書	防水工事	・アスファルト防水 10年 ・合成高分子ルーフィング防水 10年 ・塗膜防水 10年 ・モルタル防水 3年
	○屋根工事	・カラー鉄板(折板共) 年 漏水の場合等 ○塩ビ鋼板() 10年 ・アクリル樹脂鋼板 年 ・フッ素樹脂鋼板 年 ○着色石綿セメント瓦等 10年
① 完成図書	防蟻工事	・フローリング及び塗装 7年
	プール工事	・プール本体 5年 ・塗装(通常塗装の場合) 3年
① 完成図書	○植栽工事	○活着 1年 枯死の場合
	提出を要しない ○ 提出を要する(4部) (1.6.2) 完成図は原則として原因にて、修正を行い、施工図等が必要なもの提出については監督員の指示による。	
② 仮設工事	① 監督員事務所	◎ 設ける ○ 設けない ○ 1号 ○ 2号 ○ 3号 ○ 4号 ○ 5号 m程度(表2.3.11) ※ 適用しない ○ 適用する(監督員の指示による) (2.3.4)
	② 備品等の設置 ③ 工事用水 ④ 工事用電力 ⑤ 仮囲い等の安全施設	構内既存の施設 利用できる(※有償・無償) ◎ 利用できない 構内既存の施設 利用できる(※有償・無償) ◎ 利用できない ◎ 別紙設計図による。(工事範囲別紙)より指示
③ 土工	① 埋めもどし及び盛り土	種別 A種 ◎ B種 C種 D種 (表3.2.1)
	② 残土処分 ③ 整地 ④ 山留	◎ 構外搬出適切処理 ○ 構内指示の場所に敷きならし 構内指示の場所にたい積 (3.2.5) 構外指示の場所に処分 敷地面積は真砂土100t以上の土圧整地のこと m範囲 ※ 任意仮設() 但し諸敷置については監督員の指示をうけること。 ・ 指定仮設 工法によっては新力確認試験を行うこと。
④ 地業工事	1 試験くい	くいの本数 ※ 最初の1本 図示による (4.5.1) (4.5.2) くいの種類 ※ 本ぐいと同一 くいの寸法 ※ 本ぐいと同一 打込み工法 設計支持力 t/本 (4.5.3) 支持力の算定方法 ※ 昭和46年建設省告示第111号による。
	2 既製コンクリートくい及び鋼くい地業	(4.2.1) (4.2.3) (4.3.1) (4.3.3)
④ 地業工事	抗の種類	遠心力鉄筋 高強度プレストレスト コンクリート抗 コンクリート抗
	規格・材質など	JIS規格品 ※ 評面品 ※ A種・B種・C種
④ 地業工事	長さ(m)	
	断面寸法(mm)	
④ 地業工事	長期設計支持力(t/本)	
	構造	なし ※ あり(箇所)
④ 地業工事	先端部形式及び形状	開放形 閉鎖く平たん形 (4.2.2) (4.3.2)
	工法	打込み工法 施工法 ※ プレポーリング併用工法 直打工法 ハンマー ※ 油圧ハンマー ディーゼルハンマー くい打込み機の機種 ※ 3点支持クローラクレーン プレポーリング掘削深さ G L m (ケーガー径 mm) セメントミルク工法 プレポーリング掘削深さ G L m ・ 認定埋込み工法 認定された条件に基づいて施工する。
④ 地業工事	根固め液充填の確認	行う() 行わない

広島県土木建築部都市局営繕課

課長 主幹 課長補佐 係長 係員
設計者(株)ヒロコーコンサル
1級建築士(登録173903) 門田 裕二

工事名
交通安全施設等整備事業野外トイレ
(君田村)新築工事

図面内容・縮尺
設計
平成 8 年
図面番号
意匠 1/10

建築工事特記仕様書(1)

3 場所打ちコンクリートくい地業
 ④ 砂利地業
 ⑤ 捨コンクリート地業
 ⑥ 土間防湿層
 7 接地部分の断熱材(特定フロンを使用しないもの)
 ⑧ 割石地業

掘削工法 ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 (4.4.4)
 ・ 掘削工法 他の工法との組み合わせ(アースドリル・リバース・オールケーシング)
 掘削深さ (m)
 断面寸法 (mm)
 コンクリートの種別 A種 B種 (表4.4.1)
 鉄筋の最少かぶり厚さ ※ 100mm ・ 125mm (4.4.3)
 鉄筋の種別 ※ 異形鉄筋 (※ A種 ・ B種) (4.8.2)
 厚さ (mm) ※ 60 (4.9.1)
 再生クラッシュチャーラン 使用しない ・ 使用する (適用箇所) (4.10.1)
 ・ 建物内土間全層 (別棟の自動車庫、自転車置場を除く)
 ・ 張り物下地部分 (ビニール床タイル等)。但し便所、土間部磁器タイル下地は除く。
 ポリスチレンフォーム保温材 JIS A 9511規格品 B種3種(スチレン質なし) (18.9.2)
 厚さ ※ 25

⑤ 鉄筋工事
 ① 鉄筋の種別
 2 溶接金線
 ③ 鉄筋の継手
 4 耐久上不利な箇所などの鉄筋のかぶり厚さ
 ⑤ 帯筋
 ⑥ はり貫通孔補強
 7 圧接完了後の検査
 8 鉄筋の引張試験

(5.1.1)

類別	種別	径 (mm)
※ A 類	○ S D 295 A	D10 ~ D16
	・ S D 345	
・ B 類	・ 規格相当品	
	・ S D R 235	

S D R 235規格相当品は、全国伸鉄工業協会広島支部ラベル貼付表示品等
 綱目の形状 寸法・径 (mm) (5.1.2)
 施工箇所
 ③ 重ね継手 ・ ガス圧接 (径 mm以上) (5.2.1)
 ④ 打放し面 (増打) 柱サイド (mm) その他 (mm) (5.2.2)
 形の種別 断面リストによる (5.4.1)
 補強形式 構造関係共通事項による (5.9.1)
 検査方法 引張試験 (5.10.4)
 ・ 超音波探傷試験
 JISの規格品については規格証明書の提出、S D 345以上の材料・その他は公的機関及びこれに準ずる機関の試験を受けること。

⑥ コンクリート工事
 ① 設計基準強度
 ② レディーミクストコンクリートの類別
 ③ セメントの種別
 ④ 混和材料
 ⑤ 紙骨材の埋分含有量
 ⑥ 無筋コンクリート
 7 マスコンクリート
 8 高強度コンクリート

※ 普通コンクリート (6.1.2)

設計基準強度F _o (N/cd)	スランブ(cm)	適用箇所
※ 21(20.6)	15, 16	瓦葺部、毎1行
・ 18(17.7)	15	

・ 軽量コンクリート (6.1.2) (表6.7.1)

設計基準強度F _o (kg/cd)	種別	気乾単位容積重量(γ _m)	スランブ(cm)	適用箇所
※ 210	・ 1種 ・ 2種			
・ 180	・ 1種 ・ 2種			
	・ 1種 ・ 2種			

③ I類 ・ II類 (表6.1.1)
 ④ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントのB種 (6.2.1) (6.10.2)
 普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210 のほかに下記の規定に適合するものとする。

品 質	規 定
水和熱 (cal/g)	7d 84以下 28d 96以下
全アルカリ (Na ₂ O eq) %	0.75以下
塩素 %	0.02以下

注) 全アルカリ (Na₂O eq) の算出はJIS R 5210 ポルトランドセメント付属書ポルトランドセメント (低アルカリ形) による
 ※ 混和剤 A E剤またはA E減水剤標準形の1種 (6.2.4)
 ・ 混和材 フライアッシュ (6.2.2)
 ※ 0.04 %以下
 紙骨材の最大寸法 (捨コンクリート及び防水押さえコンクリートの場合) (6.9.2)
 ※ 25mm
 適用箇所 ※ 6.9.4による ・ 6.9.4の他は下表による (6.9.3) (6.9.4)

種 類	スランブ(cm)	適用箇所
普通コンクリート	○15 ・ 18	捨コンクリート
軽量コンクリート	・ 15 ・ 18	

 セメントの種別 ※ 高炉セメントのB種 (6.11.1) (6.11.2)

種 類	種 別	設計基準強度F _o (kg/cd)	スランブ(cm)	適用箇所

9 水密コンクリート
 10 打組部止水板
 ⑪ 床コンクリートこて仕上げ
 ⑫ 型枠のせき板の種別
 ⑬ 打放し仕上げの種別
 ⑭ 骨材
 ⑮ コンクリート中の塩化物量
 ⑯ 塩化物量の試験
 ⑰ コンクリートの強度試験

水セメント比(%) スランブ(cm) 適用箇所
 50 15
 混和剤
 止水板付型枠継付材 (適用箇所)
 所要空気量(%) ※ 4
 材種
 適用箇所 (6.13.2) (表6.13.1)

種 別	適 用 箇 所
・ A種	屋根防水層押さえコンクリート
・ B種	屋根防水層の下地

④ 台板 (塗装 ・ 有り塗無し) (材質 ・ 南洋材 ・ 針葉材 ・ 複合)
 ・ 床型枠用鋼製デッキプレート 製造所 (表6.14.1)
 ※ 台板せき板を使用する場合

種 別	適 用 箇 所
○ A種	※ 図示による
・ B種	※ 図示による
・ C種	※ 図示による

・ 台板せき板を使用しない場合
 種 類 ※ A (6.2.2)
 塩化物量 (Cl⁻重量) (kg/m³) (表6.12.3)
 ※ 0.30以下
 測定器 (表6.12.3)
 試料の採取
 下記より試験値は同一試験における3回の測定平均値とする。なお最初の試験は打ち込み当初行うものとする。
 ③ 150㎡ごと又はその端数につき1回以上とする。
 不合格の場合の処理 (6.4.4)
 上記の結果不合格となった場合は、次の運搬車から各運搬車ごとに試験を行い指定値以下であることを確認した後使用するものとする。ただしこの場合連続して、10台の運搬車の試験が指定値以下であることが確認できればその後は試料の採取の項による。
 公的機関及びこれに準ずる機関で行う。1週強度については、生コン工場試験室でもよい。供試体の養生方法は監督員の指示による。

7 鉄骨工事
 1 施工管理技術者
 2 鋼材
 3 高力ボルト
 4 ターンバックル
 5 溶接完了後の検査
 6 塗装
 7 耐火検査
 8 アンカーボルトの保持及び埋込み工法
 9 柱底均しモルタル
 10 軽量形鋼構造
 11 鉄骨の製作所
 12 亜鉛めっき

適用する (7.1.4) (7.2.1) (7.9.2)

材 質	規 格	使 用 箇 所
・ S S 400	※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外	
・ S S C 400	※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外	
・ S T R 400	※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外	
	※ JIS規格品 ・ JIS規格品以外	

JIS規格品以外の場合 ※ 試験を行う ・ 試験を行わない
 ・ JISの高力ボルト (セットの種別 ※ 2種(F10T)) (7.2.2)
 ・ トルシア高力ボルト (セットの種別 ※ 2種(F10T)) (7.10.2)
 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (セットの種別 1種A (F8T相当)) (7.2.6)
 鋼の種別 ※ 割棒式
 ボルトの種別 ※ 羽子板ボルト (7.5.8)

試験の種別	試 験 箇 所	試 験 数	備 考
・ 超音波探傷試験			
・ 浸透探傷試験			

錆止め塗料 鉄面 ※ 17.3.1表のA種による (7.6.1)
 亜鉛めっき面 ※ 17.3.2表による
 耐火検査 種別 ・ ラス張りモルタル ※ 耐火材付付け (※乾式工法・湿式工法) ・ 耐火板張り (7.7.1~4) (表7.7.2)
 種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 (表7.8.1)
 工法 ・ A種 (製造所は下記による) (7.8.1) (表7.8.2)
 無収縮モルタル 製造所 EKエービーシー商会(ノンシュリンクライトグラウト)、EK小野田(プレユーロックス)、電気化学工業KK(デンカプレタスコンTYPE-I)、ボノリス物産KK(マスターフロー-870グラウト)
 ※ B種
 丸鋼の類別 ※ A類 B類 (7.9.2)
 ※ 監督員の承諾する製作所
 類別 A類 種別 ※ A種 (7.10.3) (表14.2.3)
 適用箇所

⑧ ブロック・ALCパネル・PCカーテンウォール工事
 ① 空胴コンクリートブロックの種別等
 ② ブロックの鉄筋の種別
 3 れんがの種別
 4 キャスタブル耐火物
 5 ALCパネルの種別
 6 外壁パネルの取り付け工法
 7 間仕切壁パネルの取り付け工法
 8 中空成形石綿セメント板

種類 ※ C種普通ブロック (6.1.2) (6.2.2)
 厚さ ※ 図示
 異形鉄筋 類別 ※ A類 B類 (6.1.2)
 種別 ※ S D 295 A
 普通れんが ※ 2種 (6.3.2)
 耐火れんが ※ 8種または9種
 耐火れんが積目地材は耐火れんがの製造所の製品ならびに仕様とする。
 製造所 大光輝材KK(ガンロック)、日米輝材製造所(不動印) (6.3.2)
 ・ 屋根用 ・ 床用 ・ 外壁用 ・ 間仕切壁用 (6.5.2)
 種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (6.5.7) (表8.5.2)
 出隅入隅部の目地幅、パネル相互の接合部 ※ 9.4.1表による (6.5.7)
 種別 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (6.5.8) (表8.5.3)
 ・ 外壁用 ・ 間仕切壁用
 厚さ (mm) ・ 50 ※ 60 巾 (mm) ・ 450 500 ※ 600
 製造所

⑨ 防水工事
 1 アスファルト防水
 2 屋根保護防水層(断熱工法)の断熱材
 3 特定フロンを使用しないもの
 4 立上がりコンクリート
 5 伸縮調整目地
 6 合成高分子系ルーフィングシート防水
 7 塗膜防水
 8 漏水試験
 9 シーリング用材料
 ⑩ 石工事
 1 花こう岩等の石張り及び大理石張り
 2 テラゾブロック張り

(9.1.2) (表9.1.1~表9.1.6)

施 工 箇 所	種 別	施 工 箇 所	種 別

アスファルトの種類 ※ 3種 (9.1.3)
 材質 ※ ポリスチレンフォーム保温材 JIS A 9511規格品B種3種(両面スチレン質付) (9.1.3)
 厚さ (mm) ・ 25
 経路用シート ※ ポリエチレンフィルム ・ スラットキャンクロス
 打放し仕上げの種別 ※ 6.13.1表のB種 (9.1.4)
 ・ 注入目地 (9.1.5)
 ・ 成形伸縮目地 製造所 (9.2.2) (9.2.3) (表9.2.1)

施 工 箇 所	種 類	厚 さ (mm)
	加硫ゴム系	
	非加硫ゴム系	
	塩化ビニル樹脂系	

絶縁用シート ※ 発泡ポリエチレンシート (9.3.2) (表9.3.1) (表9.3.2) (9.3.3)

施 工 箇 所	種 類	厚 さ (mm)

・ 脱気装置 材質 数量
 屋内については水張試験を行う。
 (9.4.2) (表9.4.1) (10.2.3) (10.3.3) (11.1.1) (11.1.3) (11.2.3) (11.2.5) (15.6.2) (16.2.4) (16.11.1) (16.11.3)
 施工箇所は下記以外9.4.1表による。

種 別	施 工 箇 所
・ A種	ガラス窓枠
・ B種	
・ C種	建具取付、ガラス窓枠等
・ D種	
・ E種	
・ F種	

接着性試験
 ※ 簡易接着性試験 引張接着性試験 行わない
 アルミ製 L-30×10×1.2

石の品質 ※ 1等品 2等品 (10.2.2)
 石、仕上げの種類など (表10.2.1) (表10.2.2) (表10.3.1)

施 工 箇 所	種 類 ・ 産地 ・ 名 称	仕 上 げ の 種 類

種石の種類 ※ 大理石 (10.4.2)
 製造所 ※ 監督員の承諾する製造所

① タイル工事

1 陶磁器質タイル張り

2 陶磁器質タイル型わく木付け工法

3 外壁伸縮目地の位置

タイルの種類 (11.1.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	き	じ	うわぐすり	その他
洗面台A(外壁)	100×100	石目	なし	なし	耐水電器付
B(内)	100×100	全工	なし	なし	全上
C(内)	100×100	全工	なし	なし	全上(手廻り)

役物使用箇所

内装 出隅 天窓のみ使用

外装 出隅

タイルの見本焼 行わない 行う ()

製造所 監督員の承諾する製造所

壁タイル張りの工法 (小口タイル以上)

密着張 改良積上げ張り

保水層 製造所 信越化学工業株式会社(ヒメトロース)、松本油脂製薬株式会社(マーボローズエース)

反転鋼合モルタル 使用しない 使用する (製造所)

種別 (11.2.2) (表11.2.1) (11.2.3)

運用タイル	種別	タイル型枠先付け面のせき板の種別
・50角タイル	・50丁タイル	・タイルシート法
・小口タイル	・二丁掛タイル	・目地糊法
・大型タイル	・積木法	・金属製タイル型枠先付け用パネル

きじの質 せつ質 使用しない

タイルの見本焼 行う () 行わない

製造所 図示 共通仕様書による (11.1.3.a)

② 木工事

1 化粧ばり造作用集材

2 造作用集材

3 防蟻処理

4 防湿処理

5 防虫処理

6 含水率試験

7 代用樹種

8 表面仕上げ

化粧単板の樹種及び厚さ (12.1.6)

施工箇所	樹種	厚さ(mm)	施工箇所	樹種	厚さ(mm)
柱	杉	※1以上	天井板	杉	※0.2以上
かも居、なげし、廻縁	杉	※0.6以上	敷居	サクラ	※15以上

単材の樹種及び厚さ (12.1.7)

施工箇所	樹種	厚さ(mm)

防蟻処理 行う 行わない (12.1.12)

防湿処理 行わない 行う () (12.1.13)

防虫処理 行わない 行う (12.1.14)

含水率試験 行わない 行う

代用樹種 使用できる 使用できない

表面仕上げ A種とする(全上)

③ 屋根及び外壁工事

1 長尺亜鉛めっき鋼板

2 折板

3 波形石綿ストレート瓦 (外壁を含む)

形式 かわら掛 平ぶき 横ぶき 丸はぜ型ぶき (13.1.1)

材質 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) フッ素樹脂鋼板 (13.1.2)

ポリ塩化ビニル被覆金属板(SG A種)

塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯

鋼板の厚さ(mm)

(一般部 0.3 0.35 0.4 0.5 谷部 0.4 0.5)

屋根工法を定める専門業者

材質 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) フッ素樹脂鋼板

ポリ塩化ビニル被覆金属板(SG A種)

塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯

種類 山高 山のピッチ (13.2.2)

厚さ 形による区分 重ね型 はぜ型

タイトフレーム、けらばめは屋根ふき工法に応じた専門業者の仕様による。

種類 屋根 大波 中波 リン波 小波 (自転車置場) (13.3.1)

外壁 大波 中波 リン波 小波

施工地域 一般地域 (13.3.2)

強風地域

多雪地域 (ボルト締め工法は特殊フックとする。)

軒先 面戸板を使用

面戸板は石綿ストレート製とする

外壁の出隅 隣当り使用 (13.3.3)

屋金の厚さ(mm) 1.6以上 1.2以上

4 瓦

5 石綿セメント板(化粧)等ぶき

6 と

7 たてどいの床及び天井面の取台部

形状 等級

製造所

形状 910×414 (藍色成) (セメント板) 特殊な併用工法

製造所

材質 硬質塩化ビニル 硬質塩化ビニル (13.4.1)

防湿 行わない 行う (13.4.3) (表13.4.4)

掃除口 有 無 (13.4.7)

とい受金物の大きさ 市品 (とい受金物・支持金物・釘等長: ステンレス(SUS304))

支持金物のピッチは @350以下とする

断熱防水の場合 断熱防水ルーフレンドとする。

防湿を行う場合 バード (ステンレス鋼帯SUS304 厚さ0.3mm) で被覆する。

高さ(mm) 床 10

天井 10

防湿を行わない場合 シーリングプレート (ステンレス製) を取付ける。

施工箇所 共仕13.4.3.c) によるほか、ボード積上げの天井(一般の屋内及び屋外)の貫通部

④ 金属工事

1 アルミニウムおよびアルミニウム合金の表面処理 (表14.2.1)

2 鉄の亜鉛めっき (14.2.3) (表14.2.2-表14.2.4)

3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.1) (表14.4.1)

4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.2) (表14.5.1)

5 鋼製手すり (14.2.3) (14.6.1)

6 金属成形板張り (14.7.1)

7 アルミニウム製並木

8 耐酸被覆メタル

9 サッシ取合い間仕切り板

10 鋼製床組

11 ステンレス表面仕上げ (14.2.1)

表面処理の種別

施工箇所

表面処理の種別

亜鉛めっきの種別

付着量の種別(B/m²)

電圧全閉

A 種 C 種 B 種 ※ C 種

B 種 A 種 ※ B 種 C 種

亜鉛めっき面の試験 溶融亜鉛めっきの付着量試験 (14.2.3) (表14.2.5)

電気亜鉛めっきの皮膜厚さ及び塩水噴霧試験

野線などの種類

※ 14.4.1による

スタッド、ランナーなどの種類

※ 14.5.2による

亜鉛めっき 行う (※ A 種 C 種) 行わない (14.2.3) (14.6.1)

(14.7.1)

種別 アルミモールディング (既製品)

製法 押出し形材 板曲げ

寸法(mm) 板幅 板厚

形状

表面処理

伸縮継手 設けない 設ける(場所は図示)

※ 押出形材

部材の種類 250形 350形 (14.8.2) (表14.8.1)

表面処理 B-1種 A-1種 (14.2.2) (14.8.2) (表14.2.1)

曲げ材

材質 JIS H 4000規格品 A-1100

厚さ(mm) 形状図示

黒 カラー

製造所

種類

※ 鋼板製 (表面処理亜鉛めっき鋼板とし、亜鉛の最小付着量は両面で120F/m²以上とする。ただし取付金物は除く)

アルミニウム製

表面処理 B-1種 B-2種 (表14.2.1)

※ 監督員の承諾する製造所

JIS 規格品

※ H L 仕上げ 鏡面仕上げ (14.2.1)

⑤ 左官工事

1 防火材料

2 モルタル塗り及び

3 プラスター塗り類の下地調整

4 防水モルタル塗り

5 ALCパネル用特殊プラスチック塗り

6 仕上塗材仕上げ

7 軽量骨材仕上塗材吹付け

8 ロックウール吹付け

9 セルフレベリング材塗り

10 張り物タイル下地

16 器具工事

1 アルミニウム製建具

2 網戸

3 鋼製建具

屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。

吸水調整 製造所 (15.6.1) (15.2.1)

保水剤を使用する場合は、特記仕様書11章タイル工事1項による。

既製目地網 使用しない 使用する

防水剤の製造所

シフカー建設工業株式会社(シフカー派B号)、セントラル工業株式会社(シーアイシー防水剤)

株式会社ボース工業株式会社(ボース防水剤)、日本セメント(ウエータイトB号)

株式会社マノール(マノール防水剤)

材料の種別及び塗り厚 A 種 ※ B 種 (表15.5.1)

製造所

※ 滑り止め仕上塗材 (15.6.1) (表15.6.1) (15.6.4)

種別	仕上げ	工法	
・外装薄塗材C		吹付け	
・内装薄塗材C		吹付け	
・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け	
	・ローラー		
	・着色骨材砂壁状	吹付け	
・内装薄塗材E		吹付け	
	砂壁状ジュラック	・ローラー	
・内装薄塗材Si		吹付け	
		・ローラー	
・厚付け仕上塗材		(15.6.1) (表15.6.1) (15.6.4)	
種別	仕上げ	工法	
・外装厚塗材C	・模様吹き	吹付け	
	・凸部処理	吹付け	
・外装厚塗材E	・模様吹き	吹付け	
	・凸部処理	吹付け	
・複層仕上塗材		(15.6.1) (表15.6.1) (15.6.4)	
種別	仕上げ	工法	上塗り材の色彩
・複層塗材CE	・ゆず肌	吹付け	・光沢
	・凸部処理	吹付け	
・複層塗材E	・ゆず肌	吹付け	・メタリック
・複層塗材RS	・凸部処理	吹付け	
・複層塗材RE	・凹凸模様	ローラー	
・複層塗材Si	・凹凸模様	ローラー	

上塗り材の材料

CE、Eはアクリル樹脂エナメルとする。RS、REはウレタン樹脂エナメルとする。

Siはケイ酸系とする。

ALCパネル内壁目地部の形状 (15.6.2)

※ V型目地付き

※ JIS規格同等品 JIS規格品 (15.7.1)

種別	種別	仕上げ厚(mm)
軽量骨材仕上塗材	※ 吹付け用軽量骨材仕上塗材	※ 5

骨材の種類 パーライト パーミキュライト

種別 一般用 (15.7.2)

色彩 着色 原色

厚さ(mm) 10 15 20

種別 厚さ(mm) 施工箇所

※セメント系 10

※石こう系 10

張り物タイル (ビニール床タイル等) 下地は1階防水モルタル塗、2階以上はモルタル塗りとする。

外部に面する建具 (16.2.1-16.2.3) (表14.2.1)

類別	A 種	B 種
耐風圧性(kg/m ²)	・ 200	240・280・360
気密性による等級	・ 8	2
水密性による等級	・ 25	35・50
枠の見込み寸法(mm)	・ 70又は80	100
表面処理	・ B-1種	・ B-2種(色銀)

製作所

使用方法による区分 G 2 (1) (外開可動式) G 1 (1) (固定式) (16.2.5)

構造による区分 J (純正) F (フリーサイズ)

網の材質 ガラス繊維入り合成樹脂 合成樹脂 ステンレス製

製作所 県内に工場を有するもので監督員の承諾する製作所 (16.3.2)

広島県土木建築部都市局営繕課

課長	主任	課長補佐	係長	係員	設計者(株)ヒロコーコンサル
					1級建築士(登録 173903)
					門部 裕二

工事名 交通安全施設等整備事業野外トイレ (岩田村)新築工事

図面内容・縮尺 設計 平成 8 年 図面番号 3/18

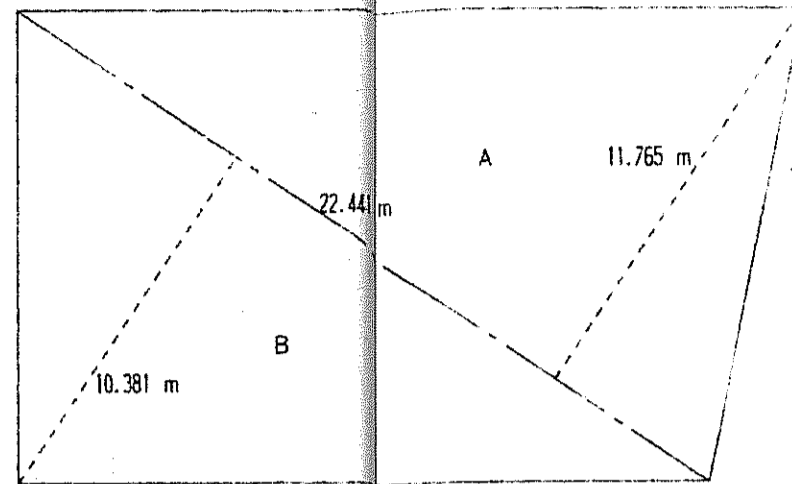
建築工事特記仕様書(3)

19 舗装工事	1	盛土材料	路床の盛土材料 (表3.2.1) (19.2.1) 3.2.1表のA種 3.2.1表のB種 3.2.1表のC種 3.2.1表のD種								
	2	路床土の支持力比(CBR)試験	※ 行わない (19.2.3) ※ 行う (※ 乱した土 乱さない土)								
	3	路床締固め度の試験	※ 行わない (19.2.3) ※ 行う								
	4	アスファルト舗装	加熱混合物の種類 (19.4.2) (表19.4.2) <table border="1"> <tr> <td>一般地域</td> <td>密粒度アスファルト混合物 (I3)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>細粒度アスファルト混合物 (I3)</td> </tr> <tr> <td>寒冷地域</td> <td>細粒度アスファルト混合物 (I3F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>細粒度キヤップアスファルト混合物 (I3F)</td> </tr> </table> シールコート 行う ※ 行わない (19.4.3) アスファルト混合物の抽出試験 行う ※ 行わない (19.4.4) 溶接金網 使用する (150×150×6φ) 使用しない (19.5.1) カラー舗装の種類 ※ 顔料を使用した加熱アスファルト混合物 (19.6.2-19.6.4) インターロッキング舗装 種類 色彩 ナチュラル カラー 厚さ(mm) ※ 60 80 クッション材 ※ 砂 から練りモルタル 形状 ※ 適用する (再生加熱アスファルト混合物 再生クラッシュラン 再生粒底調整砕石 再生コンクリート砂) (19.1.1) 品質・規格については監督員と協議すること 適用しない	一般地域	密粒度アスファルト混合物 (I3)		細粒度アスファルト混合物 (I3)	寒冷地域	細粒度アスファルト混合物 (I3F)		細粒度キヤップアスファルト混合物 (I3F)
	一般地域	密粒度アスファルト混合物 (I3)									
		細粒度アスファルト混合物 (I3)									
	寒冷地域	細粒度アスファルト混合物 (I3F)									
	細粒度キヤップアスファルト混合物 (I3F)										
5	コンクリート舗装										
6	特殊舗装										
7	再生資材										
20 排水工事	1	透心力鉄筋コンクリート管	管径150mm未満は市販品とする。 (20.1.1) (表20.1.1) 継手 ※ ソケット管のゴム接合 カラー又はソケット管のモルタル接合 長さ ※ 1種 2種								
	2	排水パイプ	◎ 建築工事標準詳細図								
	3	グレーチング	材質 ※ 鋼製 ステンレス製 耐荷重等は図示による 製造所 広島県名入りとし、雨水、雑排水、汚水等の表示入りとする。								
	4	鉄製マンホールふた	形式 防臭型 安全荷重 HASS 209による 屋内用 500kg以上 屋外用 500kg以上 ※ 1500kg以上 5000kg以上 製造所								
	5	硬質塩化ビニール管	材質 JIS K 6741規格品 種類 VP管径(mm)								
21 植栽工事	1	植込み用土	※ 現場発生の良質土 ◎ 客土 (21.1.1)								
	2	支柱丸太及び添木丸太	◎ 防蟻剤塗り 焼丸太 (21.1.2)								
	3	芝	種別 ※ こうらい芝 野芝 (21.2.1) 芝張り 平地 ※ 目地張り 切り土のり面 ※ べた張り 盛り土のり面 ※ 筋芝張り 客土 ※ 行う 行わない (21.2.2) (21.2.2)								
	4	土壌改良剤	種別 土壌改良用泥炭 ◎ パーク系堆肥 (21.1.1)								
	5	吹付は種	酸性度測定 ※ 行わない 行う 硬度測定 ※ 行わない 行う 種子量 (g/ml) 接種養生剤 行わない 行う								
	6	玉石敷き	自然産玉石 サイズ 30-40mm 厚さ 80mm								

22 雑工事	1	階段滑り止め	材質 ステンレス鋼 (※ 埋込み工法 接着工法) (22.1.2) フラットエンド 有 (※ タイヤ同材 ステンレス鋼) 無 形状 ※ ビニールタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り タイヤなし 広島県高等学校黒板仕様 種類 ※ 研ぎ出し黒板 木製 鋼製 ※ 焼き付け黒板 (※ 焼き付け ほうろう) 枠 ※ アルミ合金製 木製 色彩 ※ 緑 黒 白																																
	2	黒板																																	
	3	スクリーン	種別 ホワイトスクリーン 形式 ※ スプリング巻上(ノーション)式 寸法(mm) 幅() 高さ()																																
	4	OHF用スクリーン	種別 ホワイトスクリーン 形式 寸法(mm) 幅() 高さ() 詳細は標準図による																																
	5	カーテン	(22.3.1) (22.3.2) (表22.3.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>きれ地の品質(製造所)</th> <th>ひだの種類</th> <th>形式</th> <th>引き分け装置</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・片引き 引き分け</td> <td>・有 無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・片引き 引き分け</td> <td>・有 無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・片引き 引き分け</td> <td>・有 無</td> </tr> </table> 暗幕用カーテンの重ねかけ ※ 300以上 材質 ※ ステンレス製 アルミニウム製 (22.3.2) 製造所 (22.4.1) <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>横型ブラインド</th> <th>縦型ブラインド</th> </tr> <tr> <th>材種</th> <td>アルミニウム合金</td> <td>アルミニウム合金</td> </tr> <tr> <th>開閉方式</th> <td>ギヤ式</td> <td>コード式</td> </tr> <tr> <th>スラットの成形幅(mm)</th> <td>25 35</td> <td>100 75以上</td> </tr> </table>	施工箇所	きれ地の品質(製造所)	ひだの種類	形式	引き分け装置				・片引き 引き分け	・有 無				・片引き 引き分け	・有 無				・片引き 引き分け	・有 無	形式	横型ブラインド	縦型ブラインド	材種	アルミニウム合金	アルミニウム合金	開閉方式	ギヤ式	コード式	スラットの成形幅(mm)	25 35	100 75以上
	施工箇所	きれ地の品質(製造所)	ひだの種類	形式	引き分け装置																														
				・片引き 引き分け	・有 無																														
				・片引き 引き分け	・有 無																														
				・片引き 引き分け	・有 無																														
	形式	横型ブラインド	縦型ブラインド																																
材種	アルミニウム合金	アルミニウム合金																																	
開閉方式	ギヤ式	コード式																																	
スラットの成形幅(mm)	25 35	100 75以上																																	
6	カーテンレール																																		
7	ブラインド																																		
8	アコーディオンドア	製品は消防法に認定する防火加工を行ったものとする。 製造所 詳細図による。																																	
9	庁名文字	切抜文字(ステンレス製 黄銅製) 箱文字(ステンレス製 黄銅製) 文字() 文字の大きさ()号 バーナー 都市ガス用 プロパンガス用 釜 ※ バランス式(一般型 ※ シャワー付型) 外釜式 そう 鉄板ホロー仕上げ ポリバス ※ ステンレス 寸法(mm) 長さ() 幅() 高さ() 保温ふた付 ※ ビニール製(受わくステンレス製) 硬質アルミニウム製(受わくステンレス製)																																	
10	浴そう	材質 黄銅(ホワイトブロンズめっき仕上) ステンレス製 ()組 製造所 鋼製物品類 ※ JIS S 109規格品 鋼製物品類 ※ JIS S 100規格品 ・ BL部品(トラップ付) 一般型(水封50mm以上のトラップ付) ・ BL部品 一般型 公共住宅型 ・ 一般型(材質はステンレス鋼又はアルミニウム) ・ BL部品 一般型 公共住宅型 ・ 室名札 ◎ ビクトラフ 庁舎案内板 視覚障害者案内板 標準寸法—アクリル板 ◎ 50×250以上 ◎ ステンレス板(SUS304 ◎ 5)(200×200) 文字—シルク印刷 エナメル書き (ヒョウグラフ表示) → 7ヶ所 文字寸法—文字間隔は適合 書体—太ゴシック 角ゴシック長体1号 産振補助建物は()とする。 建設年記入																																	
11	くつみきマット																																		
12	旗幟お受金物																																		
13	旗幟お																																		
14	カウンタ																																		
15	鋼製書架及び物品架																																		
16	ステンレス流し台																																		
17	つり戸だな																																		
18	水切りだな																																		
19	コンロ台																																		
20	標(ヒョウグラフ表示)																																		
21	点検口	天井 材質 アルミニウム製、寸法(mm) ※ 450×450 600×600 製造所 昭和ロックKK(天井ハッチ)、KKダイケン(2型)、ナカ工業KK(ハイハッチSD)、KKマンテン(テンナンハッチ)、理研アルミ建材KK(天井点検口) O床 材質 ステンレス製、寸法(mm) ※ 450×450 ◎ 600×600 製造所 カネソウKK(フロアハッチMOAS)、第一機材KK(フロアハッチD型)、KKダイケン(アンダーハッチ)、中部工機KK(フロアハッチ)、ナカ工業KK(ニューハッチE)																																	
22	屋上点検口	材質 ※ ステンレス製 鋼製 大きさ () × () × () φ																																	
23	焼却炉	製造所 基礎寸法 () × () × () 地床厚 60mm																																	
24	砂利敷き	種別 通路 ※ A種 B種 (表22.5.1) 建物周囲その他 A種 ※ B種																																	
25	間知ブロック積み	面の形状 ※ 正方形 長方形 (22.6.2) JISによる重量区分 A種 ※ B種 目塗り 行う ※ 行わない																																	
26	敷地・境界石	製造所 広島県公有財産管理規則による標識とする。()箇所																																	
27	煙突用成形ライニング材	製造所 ニチアスKK(ニカボスタック)、日本インシュレーションKK(ハイスタック)																																	
28	トラフ	枠 硬質アルミ枠 詳細は建築工事標準詳細図による。																																	
29	階段手すり笠木	・ビニール製 製造所																																	

30	天井見切縁	材質 ※ アルミニウム既製品(押出し型材) ビニール既製品 視覚障害者用誘導ブロック 材質 塩化ビニール製(厚さ2mm) コンクリート製(厚さ30mm) 詳細は、建築工事標準詳細図による。◎磁器質タイルブロック(300×300) (耐火タイプ) 枠アルミ パネルポリウレタン化粧合板 ◎ 並木ステンレス ◎ マラニ化粧合板 P S部 周囲(3方)は天井までとする。 ◎ 中木ステンレス ◎ 磁器質タイルステンレス
	トイレブース	製造所仕様を基本とし、施工団提出のうえ監督員の承諾を得ること。 広島県高等学校家具仕様(別図)による。
	シャワーブース	原則として家具職人の施工とし、施工に先立ち施工団を監督員に提出し、形状、寸法、材料、工法、金物等の承諾を受けること。
	家具工事	製造所 小川長春館・セノー・都村製作所 運送のおそれのある部分で、耐火構造又は防火構造が要求される場合は、鋼製PL厚1.5mm以上のもの、甲種防火戸又は乙種防火戸を使用すること。
	体育器具	
	換気扇枠等	

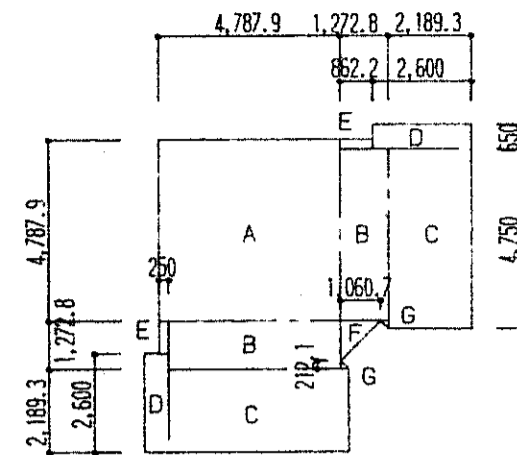
単位 (㎡)	
敷地面積	248.489
建築面積	59.58
1階床面積	56.93
延べ床面積	56.93
自動車庫等面積	0
容積率用延べ床面積	56.93



A $22.441 \times 11.765 = 261.0184$
 B $22.441 \times 10.381 = 232.9600$

四面積 = 495.9784
 $1/2 = 248.4892$
 敷地面積 = 248.489㎡

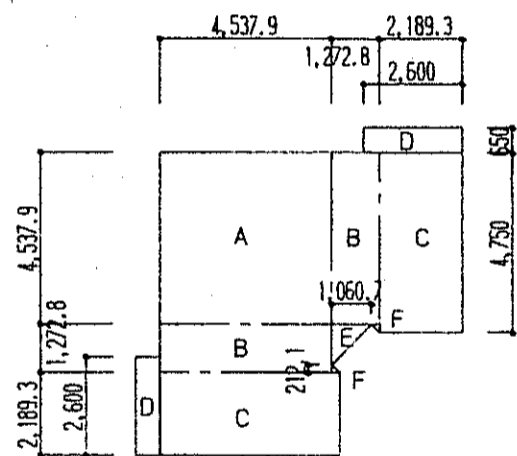
敷地面積表 1/200



A $4.7879 \times 4.7879 = 22.924$
 B $4.5379 \times 1.2728 \times 2 = 11.552$
 C $4.750 \times 2.1893 \times 2 = 20.798$
 D $2.600 \times 0.650 \times 2 = 3.380$
 E $1.2728 \times 0.250 = 0.318$
 F $1.0607 \times 1.0607 / 2 = 0.563$
 G $0.2121 \times 0.2121 / 2 \times 2 = 0.045$
 計 = 59.580
 建築面積 = 59.58㎡

建築面積表 1/200

面積表



A $4.5379 \times 4.5379 = 20.593$
 B $4.5379 \times 1.2728 \times 2 = 11.552$
 C $4.750 \times 2.1893 \times 2 = 20.798$
 D $2.600 \times 0.650 \times 2 = 3.380$
 E $1.0607 \times 1.0607 / 2 = 0.563$
 F $0.2121 \times 0.2121 / 2 \times 2 = 0.045$
 計 = 56.931
 1階床面積 = 56.93㎡

1階床面積表 1/200

広島県土木建築部都市局営繕課

主任	課長	主幹	課長補佐	係長	係員
平成 8 年 6 月 28 日					

設計者・設計事務所名
 (株)ヒロコーコンサル
 1級建築士(登録 173903 号)
 門路 裕二
 建築設備士(登録 号)



総括	意匠	匠	構造	造	設備
平成 年 月 日					

工事名
 交通安全施設等整備事業野外トイレ(岩田村)新築工事

図面内容・縮尺
 面積表 1/200

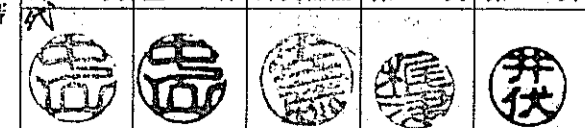
完成図

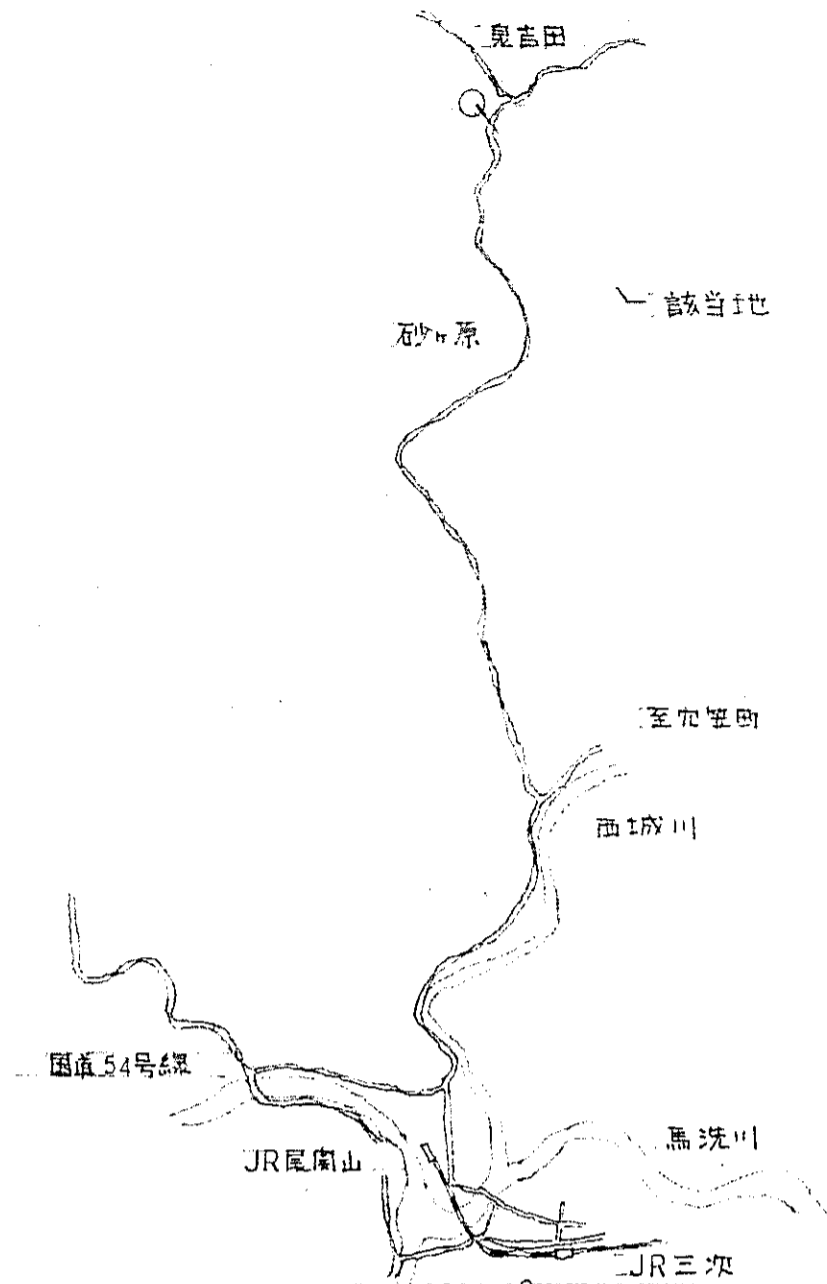
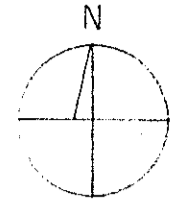
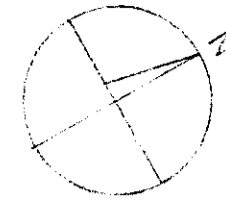
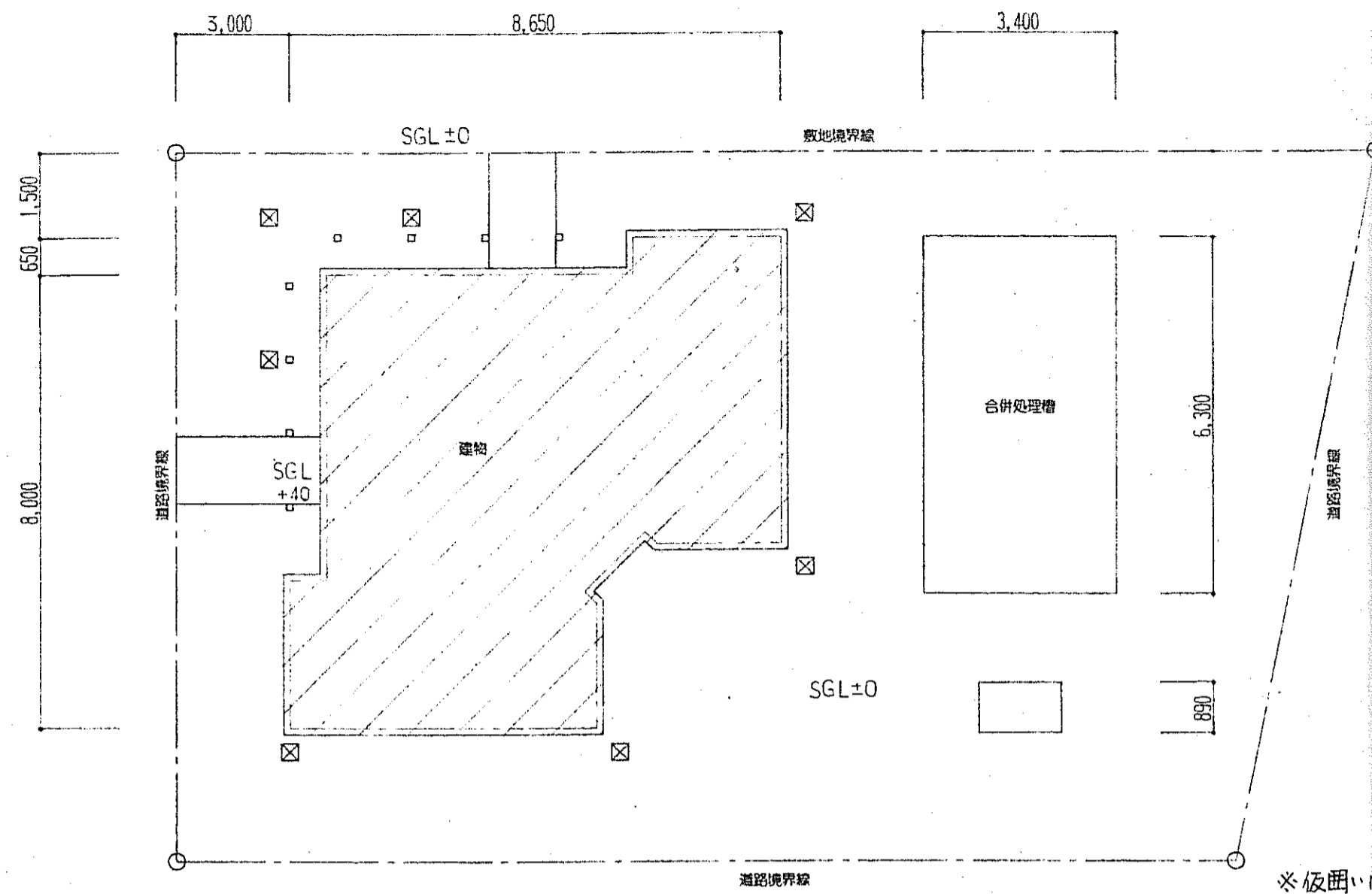
種別
 意匠

図面番号
 6/12

外部仕上表				特記事項	符号
屋根	着色石棉セメント成型板 4/10	軒とい	カラー塩ビ製 角型W=120		C コンクリート PB 石膏ボード
	下地 アスファルトルーフィング22kg+杉板ア-18 +ラワン合板ア-15	壁とい	塩ビ製 VUφ75 VP塗仕上		S スチール DPB 化粧石膏ボード
外壁	磁器質タイル張A	柱、梁	桧(小節)120*120 防虫防腐塗料		ST ステンレス FB フレキシブルボード
	杉板(小節)横張ア-12 防虫防腐塗料				A アルミニウム ACB 石棉セメント板
	下地 アスファルトルーフィング22kg				TB テラゾブロック RWB 岩棉吸音板
					M モルタル AB 石棉珪酸カルシウム板
					W 木製組下地
					LGS 軽量鉄骨下地

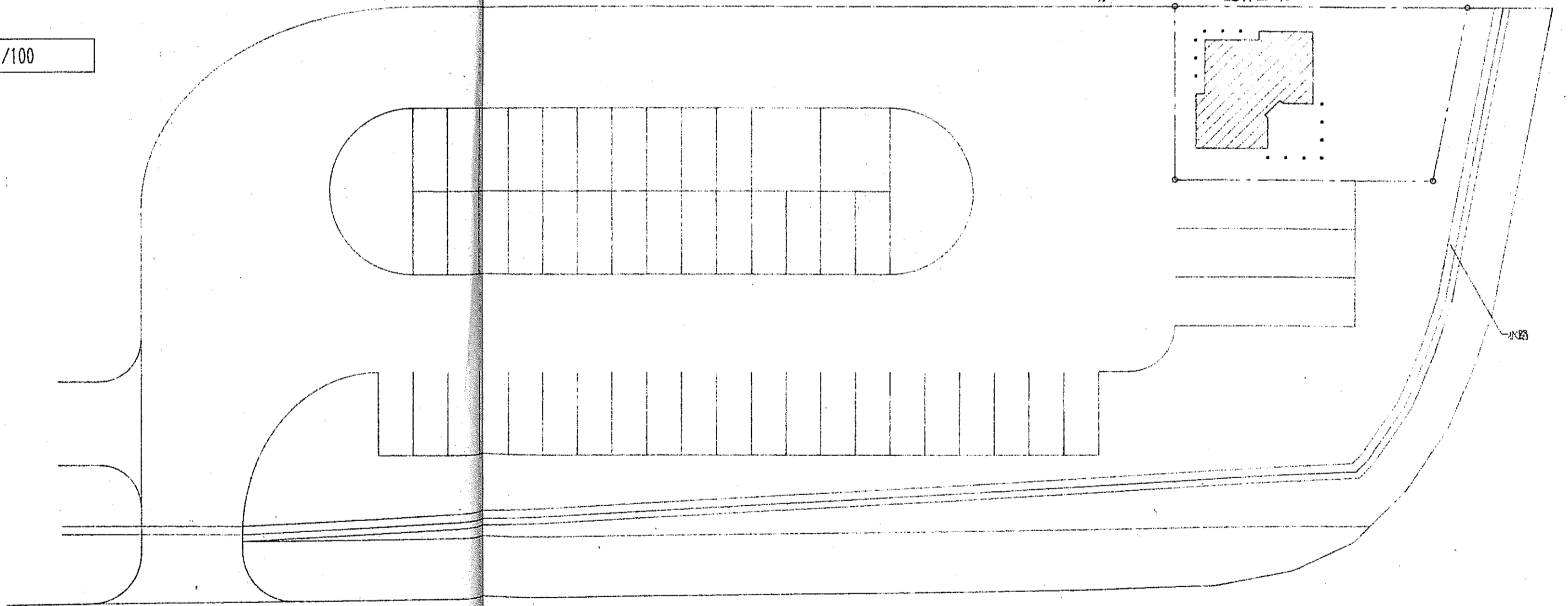
内部仕上表												
階	室名	床	下地	幅木 腰	下地	壁	下地	天井	下地	天井高	廻縁	備考
1	通路	磁器質タイル張B	M			磁器質タイル張A 杉板(小節)横張ア-12 防虫防腐塗料	M W	屋根裏現し 杉板(小節)ア-18 防虫防腐塗料		直天		
	身障者用便所	全上	全上			磁器質タイル張C (-部 複層塗材RE塗り) 杉板(小節)横張ア-12 防虫防腐塗料	全上	全上		直天		棚 固定手摺 可動手摺 床下点検口(錠付)
	男性用便所	全上	全上			全上	全上	全上		直天		棚 固定手摺 床下点検口(錠付) 洗面カウンター
	女性用便所	全上	全上			全上	全上	全上		直天		棚 床下点検口(錠付) ベビーベッド 洗面カウンター ベビーチェア
	掃除道具入	モルタル金こてア-30	C			モルタル金こてア-30	C	全上		直天		棚

広島県土木建築部都市局営繕課 	課長 主任 課長補佐 係長 係員 平成 8 年 6 月 28 日	設計者・設計事務所名 (株)ヒロコ-コンサル 1級建築士(登録 173903 号) 門番 格二 建築設備士(登録 号)	総括 意匠 構造 設備 平成 年 月 日	工事名 交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事	図面内容・縮尺 仕上表	種別 意匠 図面番号 7/10
	平成 8 年 6 月 28 日			平成 年 月 日		完 成 図



※仮囲いは左図の道路及び敷地境界線上に設置する。

配置図 1/100



配置図 1/300

広島県土木建築部都市局営繕課

課長	主任	課長補佐	係長	係員
平成8年6月28日				

設計者・設計事務所名
 (株)ヒロコーコンサル
 1級建築士(登録 173903 号)
 門番 裕二
 建築設備士(登録 号)

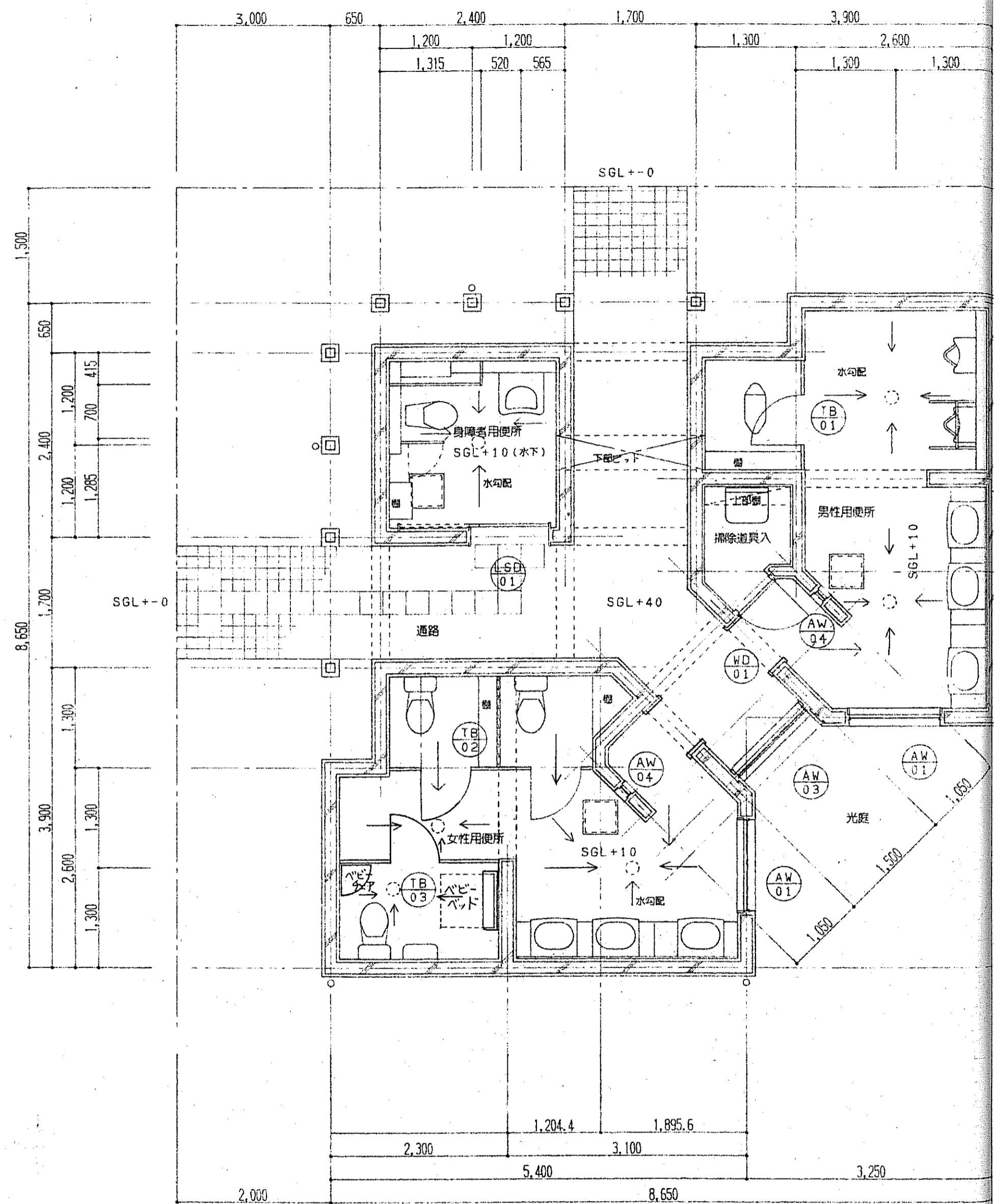
調査	総括	意匠	匠構	造設	設備
平成 年 月 日					

工事名
 交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事

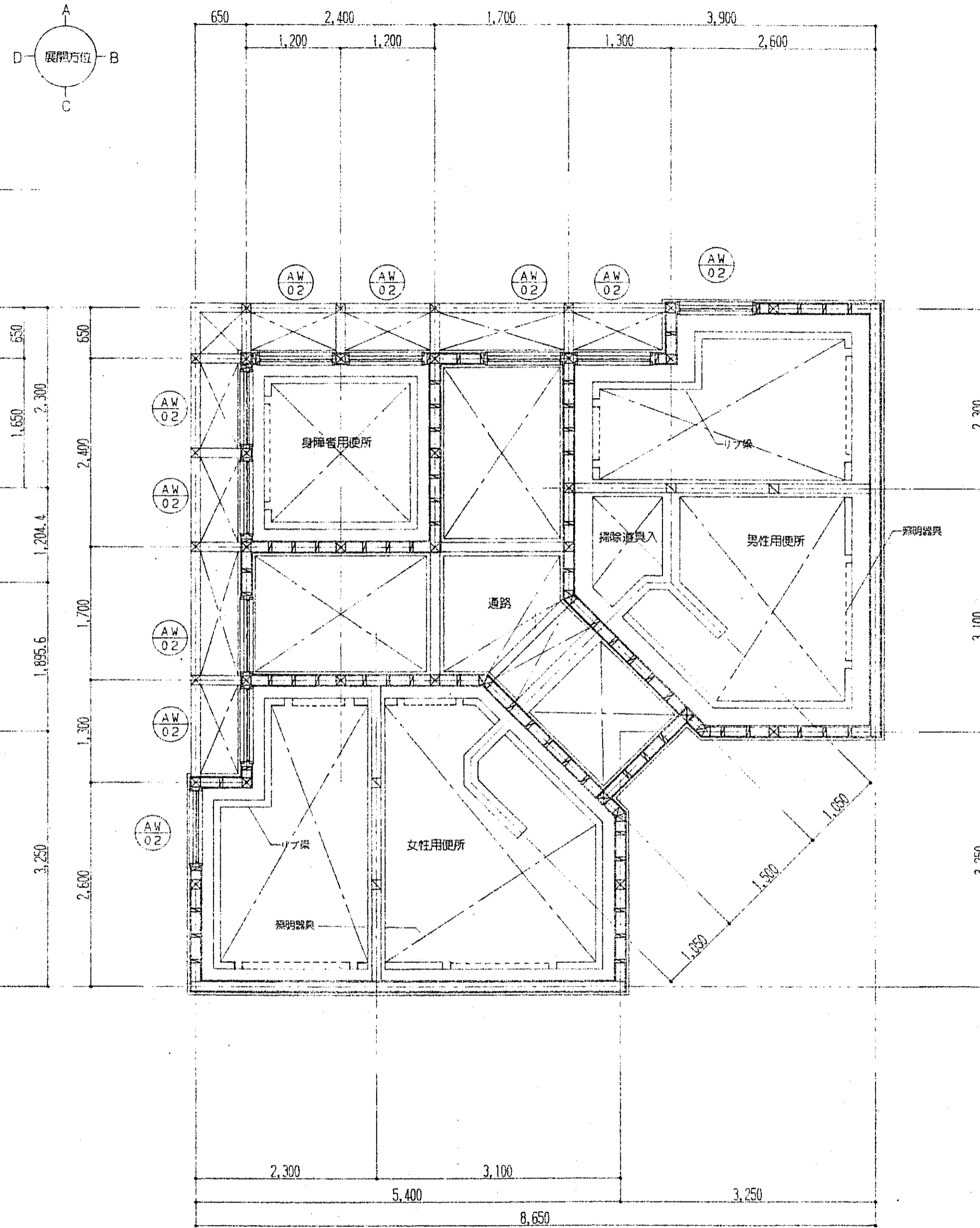
図面内容・縮尺
 配置図 1/100, 1/300
 付近見取図

完成図

種別
 意匠
 図面番号
 8/18

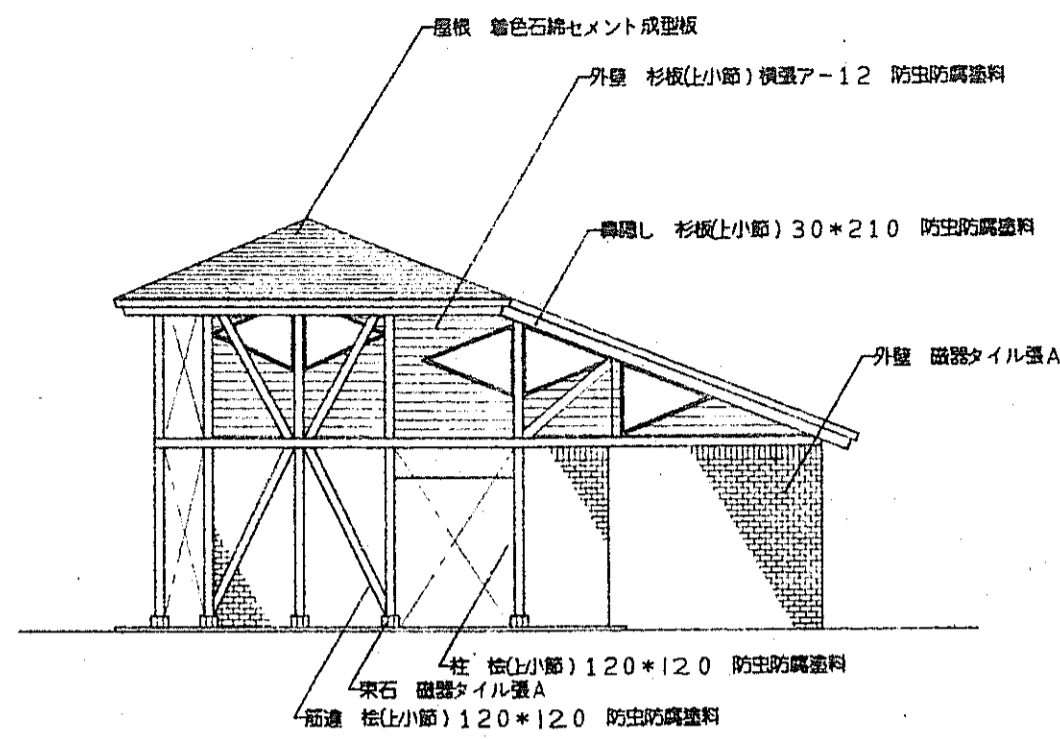


下部1階平面図 1/50

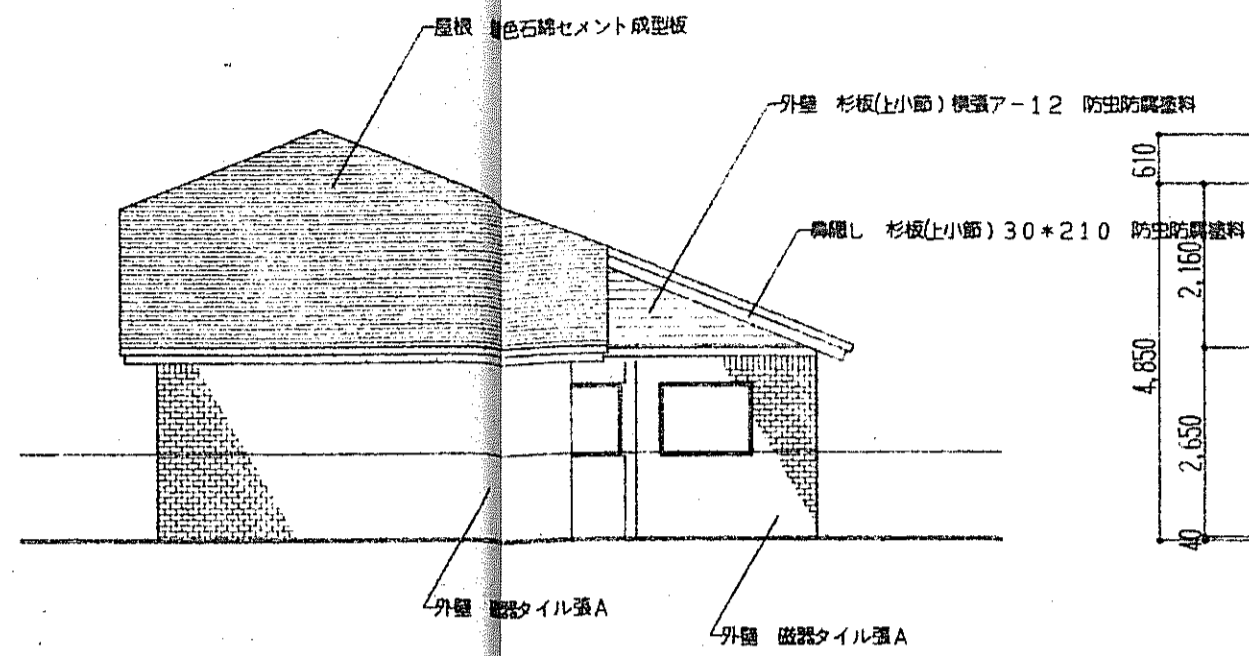


上部1階平面図 1/50

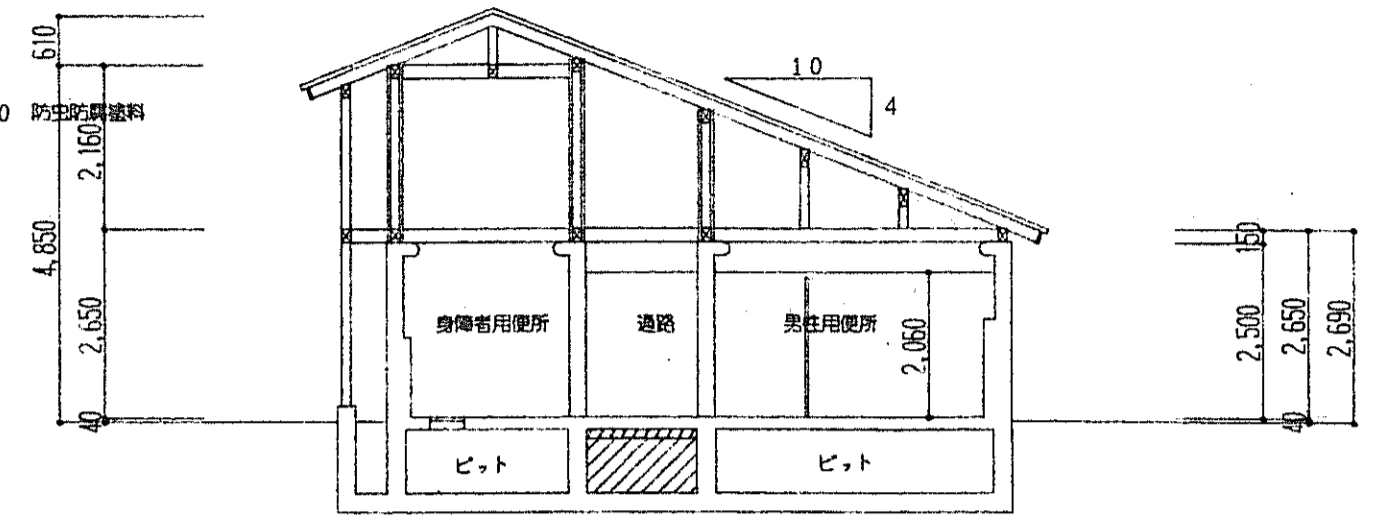
広島県土木建築部都市局営繕課 	課長 主幹 課長補佐 係長 係員 	設計者・設計事務所名 (株)ヒロココンサル 1級建築士(登録 173903 号) 門路 裕二 建築設備士(登録 号)	総括 意匠 構造 設備 平成 年 月 日	工事名 交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事	図面内容・縮尺 1階平面図 1/50	種別 意匠 図面番号 9/12
	平成 8 年 6 月 28 日	完成	完 成	完 成	完 成	完 成



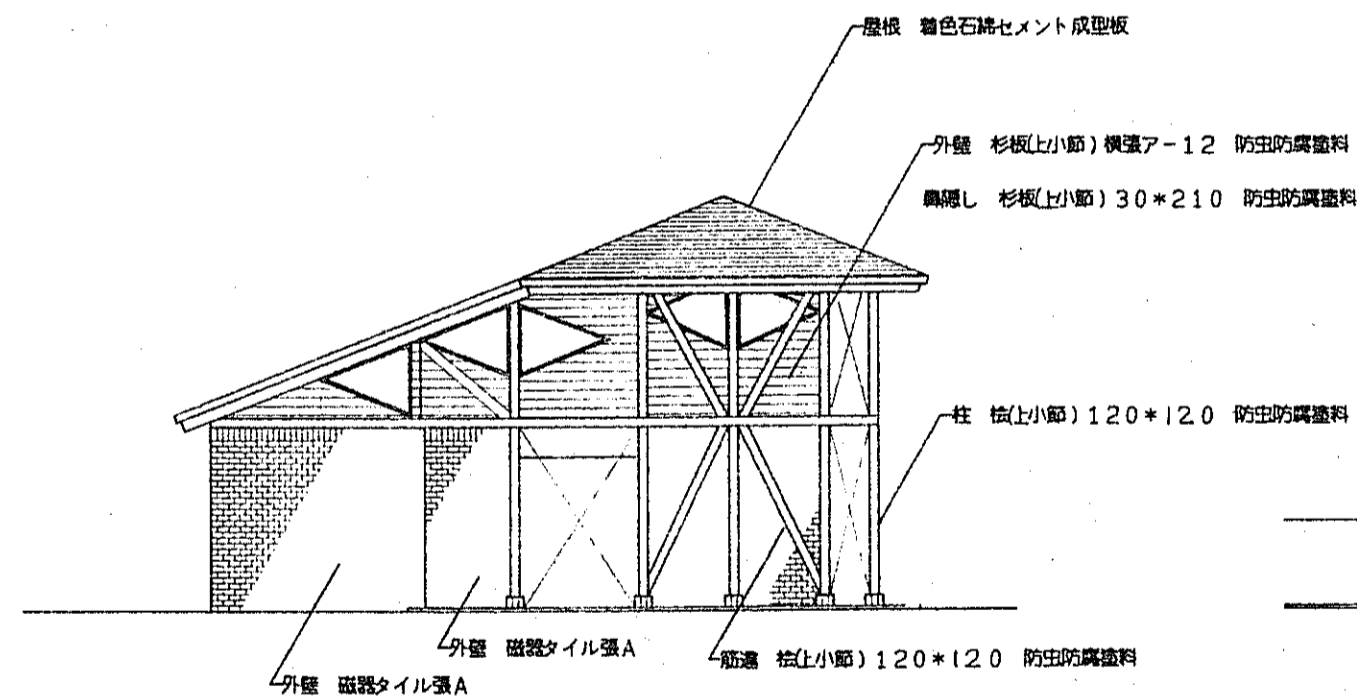
南立面図 1/100



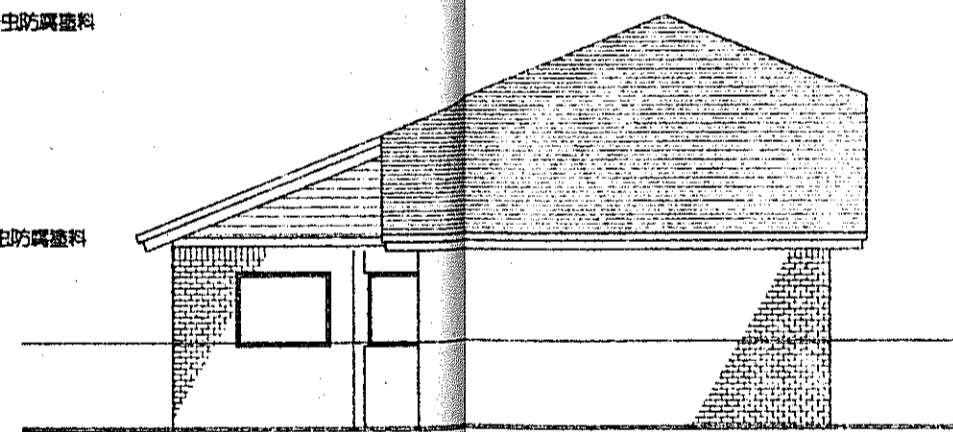
東立面図 1/100



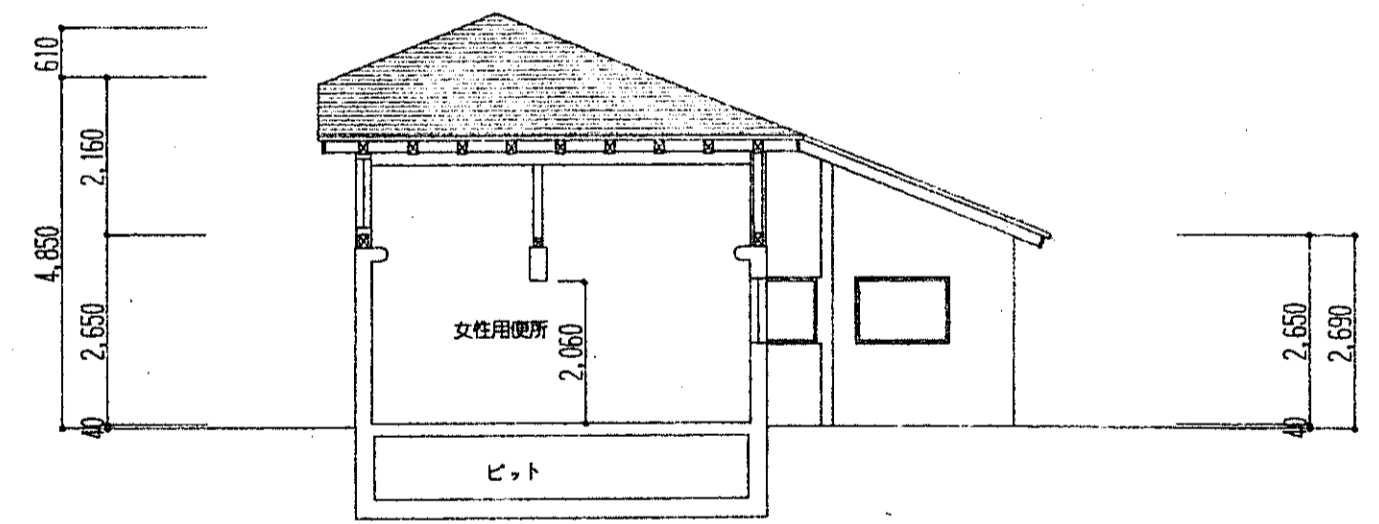
断面図 1/100



西立面図 1/100



北立面図 1/100



断面図 1/100

広島県土木建築部都市局営繕課

課長	主任	幹事	課長補佐	係長	係員
平成 8 年 6 月 28 日					

設計者・設計事務所名
(株)ヒロコーコンサル
1級建築士(登録 173903 号)
門脇 裕二
建築設備士(登録 号)



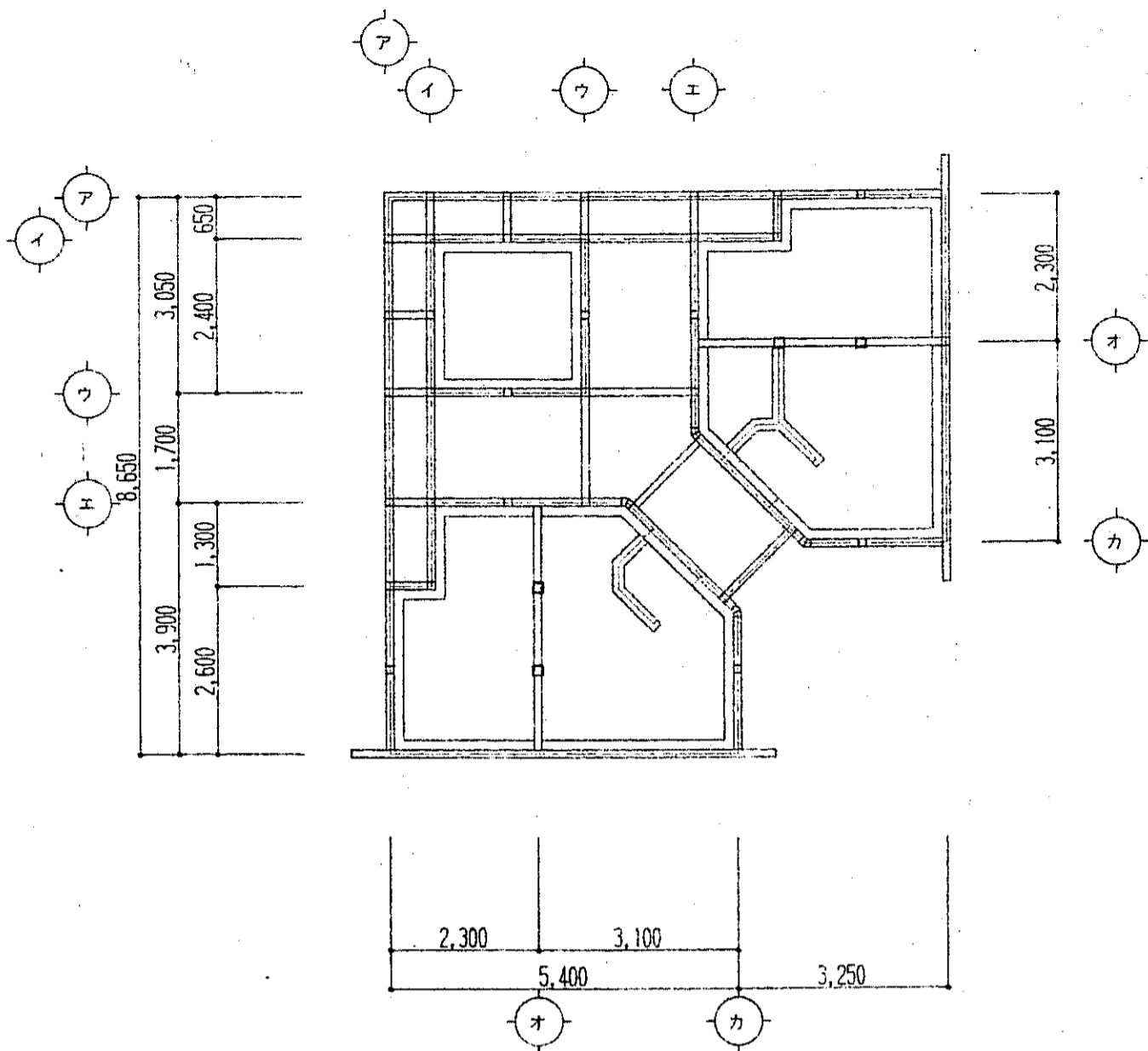
総括	意匠	匠	構造	設備
平成 年 月 日				

工事名
交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事

図面内容・縮尺
立面図 1/100
断面図 1/100

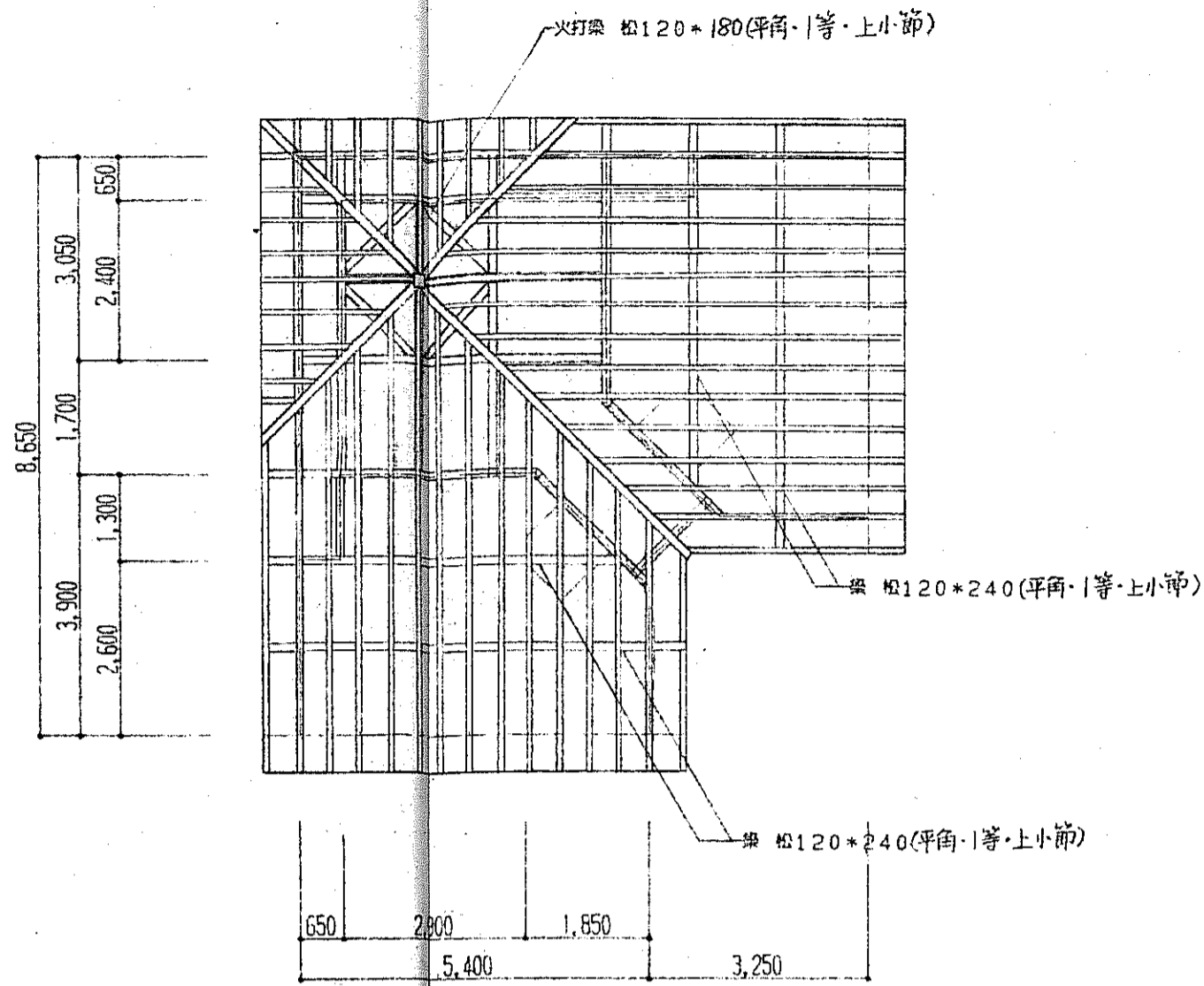
完成図

種別
意匠
図面番号
10/13

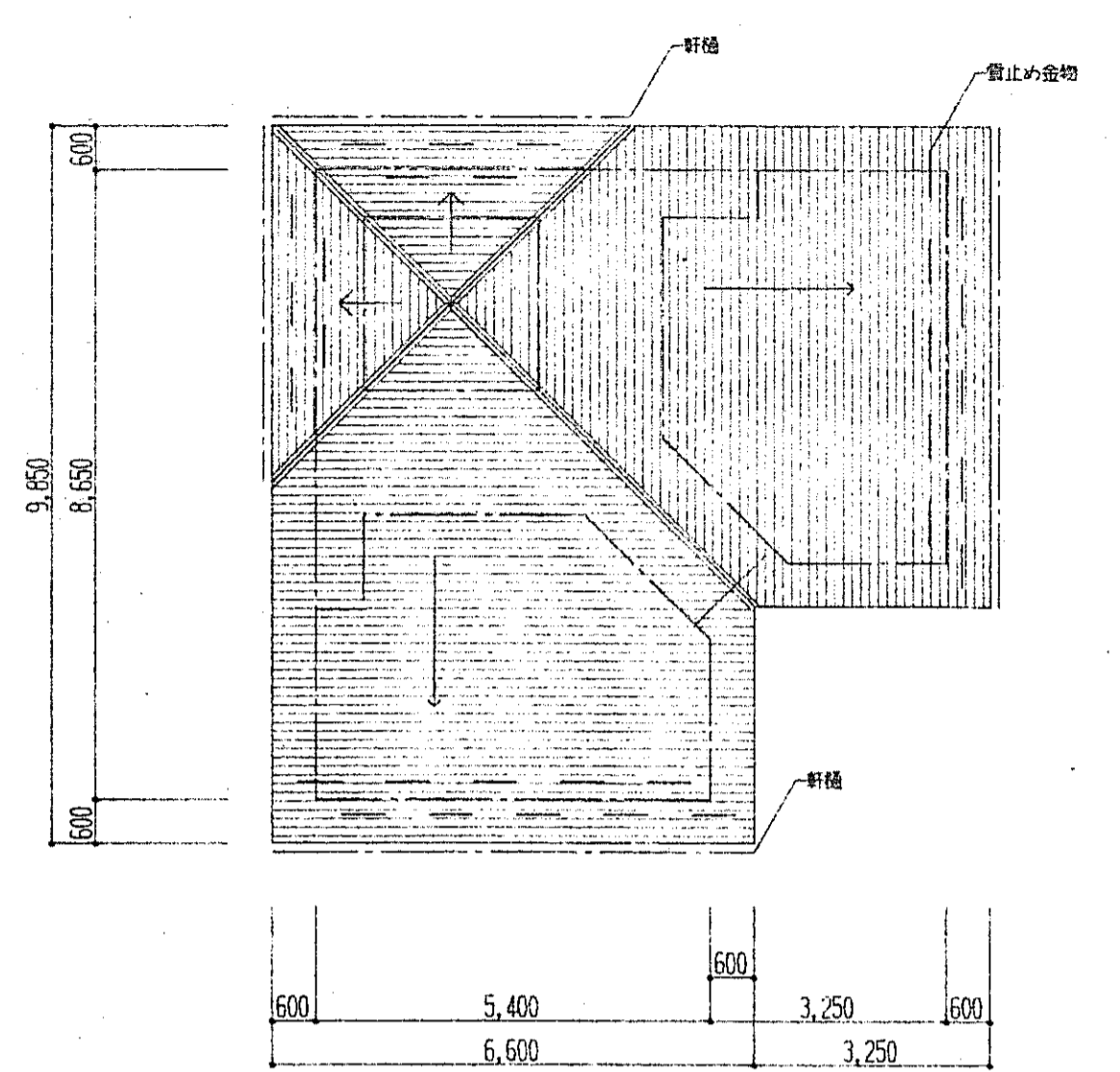


土台伏図 1/100

土台 松120*120
柱 松120*120



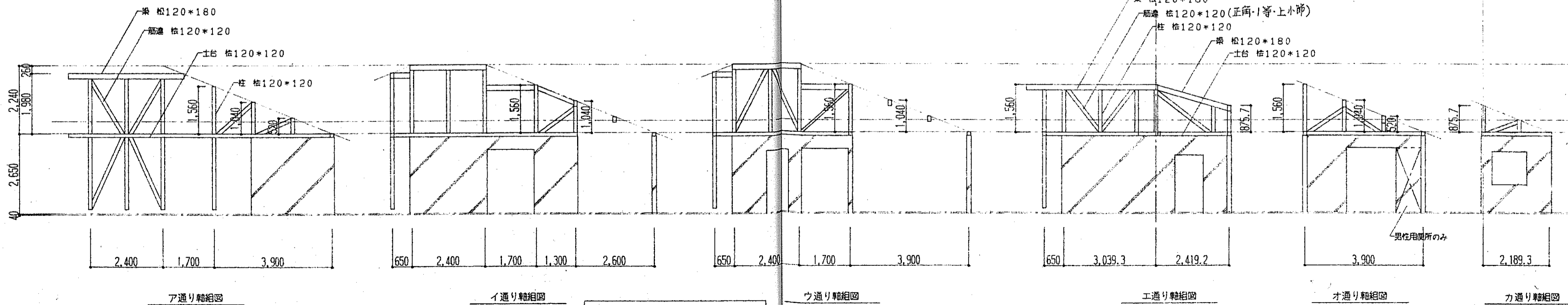
小屋伏図 1/100



屋根伏図 1/100

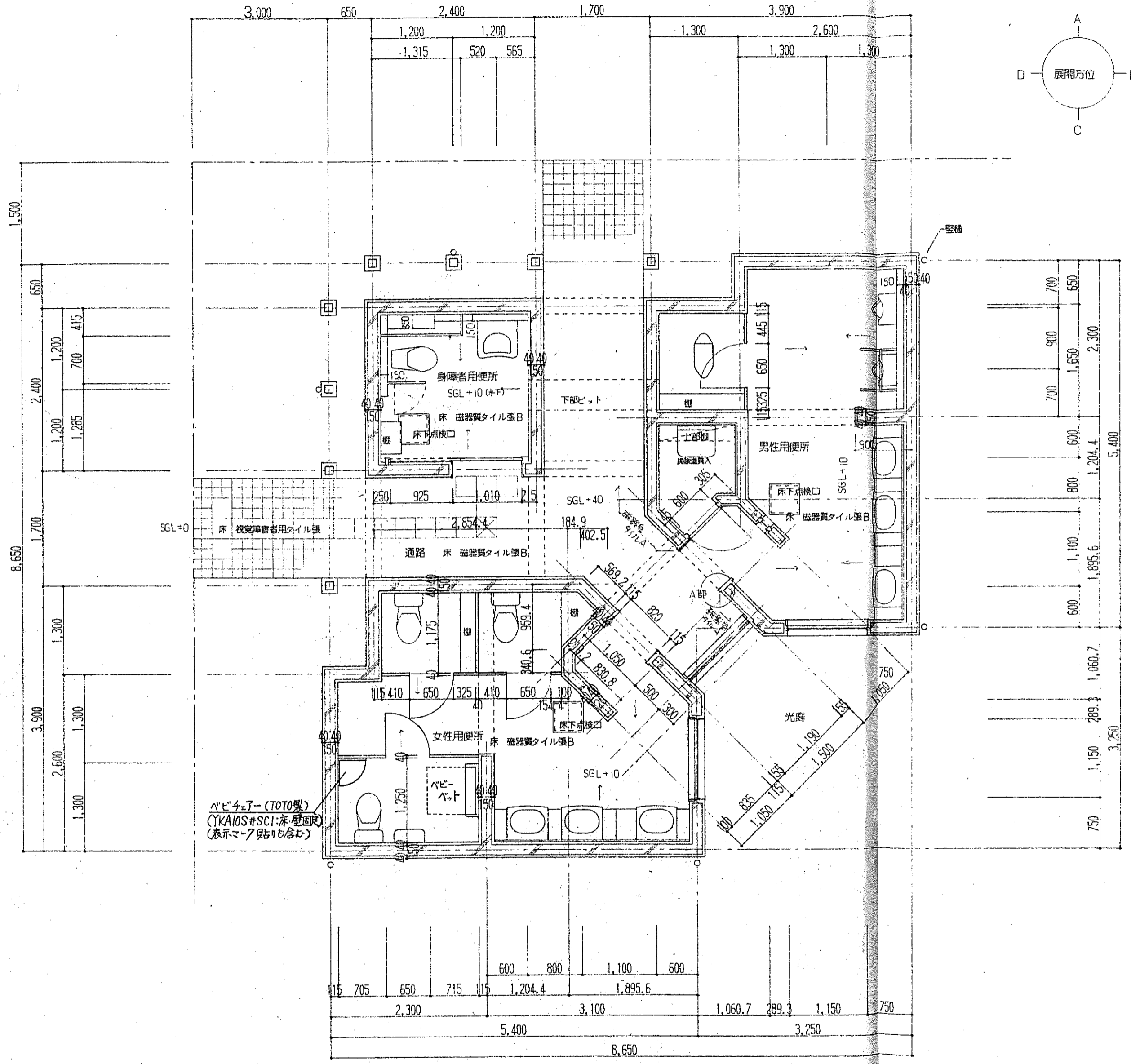
(特記)・特記(特記)限り、下記の仕様に於、樹種の区分の記入がない時は、松(平角・1等・上小節)とす。
木材の材法は仕上げ寸法を示す。表面仕上げはA種とす。

- 土台 松120*120(正角・1等・上小節)
- 柱 松120*120(" " " ")
- 梁 松120*180(平角・1等・ ")
- 横木 松120*150(平角・1等・ ")
- 垂木 松90*120(平角・1等・ ")@450
- 間柱 杉120*45@ (平割り・1等・ ")
- 壁板 杉@12 (板材・1等・上小節)
- 野地板@18(杉) (" " " ")

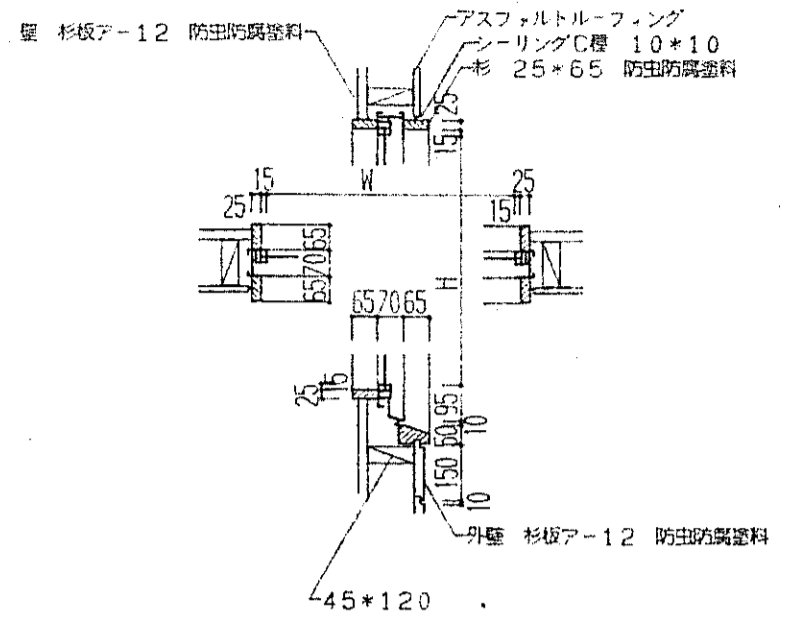


軸組図 1/100

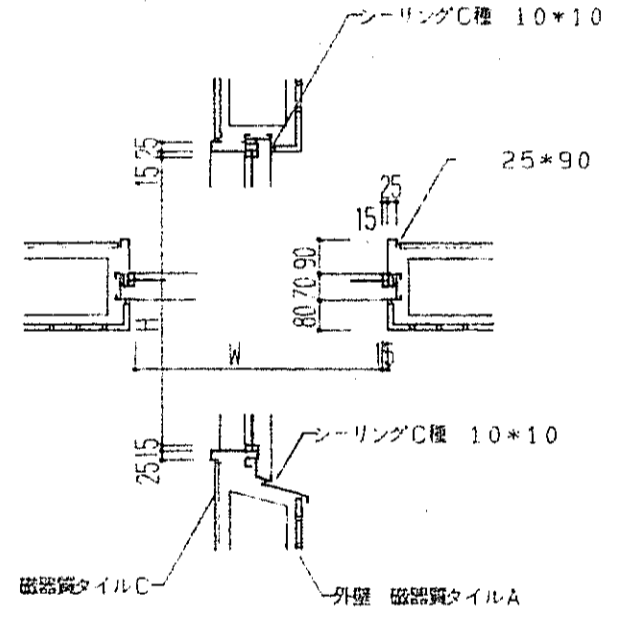
広島県土木建築部都市局営繕課 平成 8 年 6 月 28 日	課長 主幹 課長補佐 係長 係員 	設計者・設計事務所名 (株)ヒロコーコンサル 1級建築士(登録 173903 号) 門番 杉二 建築設備士(登録 号)	設計者 平成 年 月 日	工事名 交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事	図面内容・縮尺 土台・小屋・屋根伏図 1/100 軸組図 1/100	種別 意匠 図面番号 11/15
	完成図		平成 年 月 日		完成図	



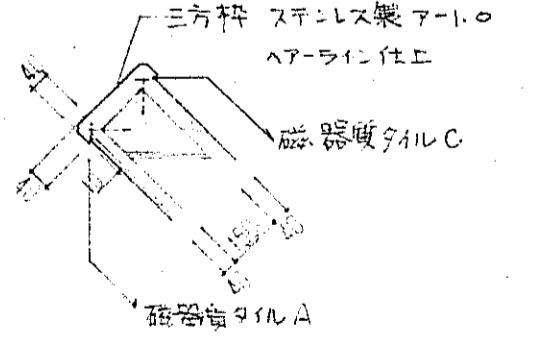
1階平面詳細図 1/50



AW-2詳細図 1/20



AW-1.3詳細図 1/20



A部 (三方枠) 詳細図 1/20

広島県土木建築部都市局営繕課

課長	主幹	課長補佐	係長	係員
平成 8 年 6 月 28 日				

設計者・設計事務所名
 (株)ヒロコーコンサル
 1級建築士 (登録 173903 号)
 1級建築士 (登録 173903 号)
 建築設備士 (登録 号)

総括	意匠	構造	設備
平成 年 月 日			

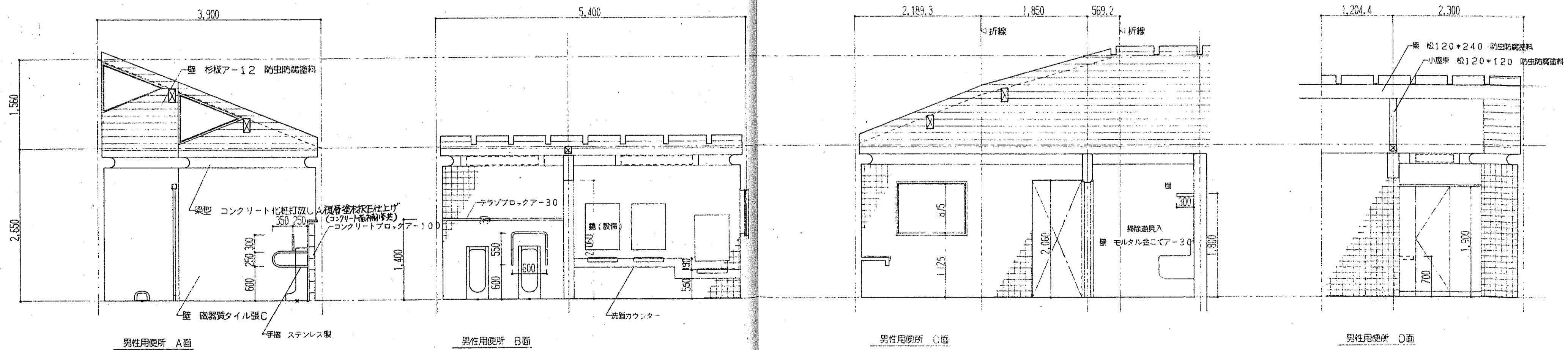
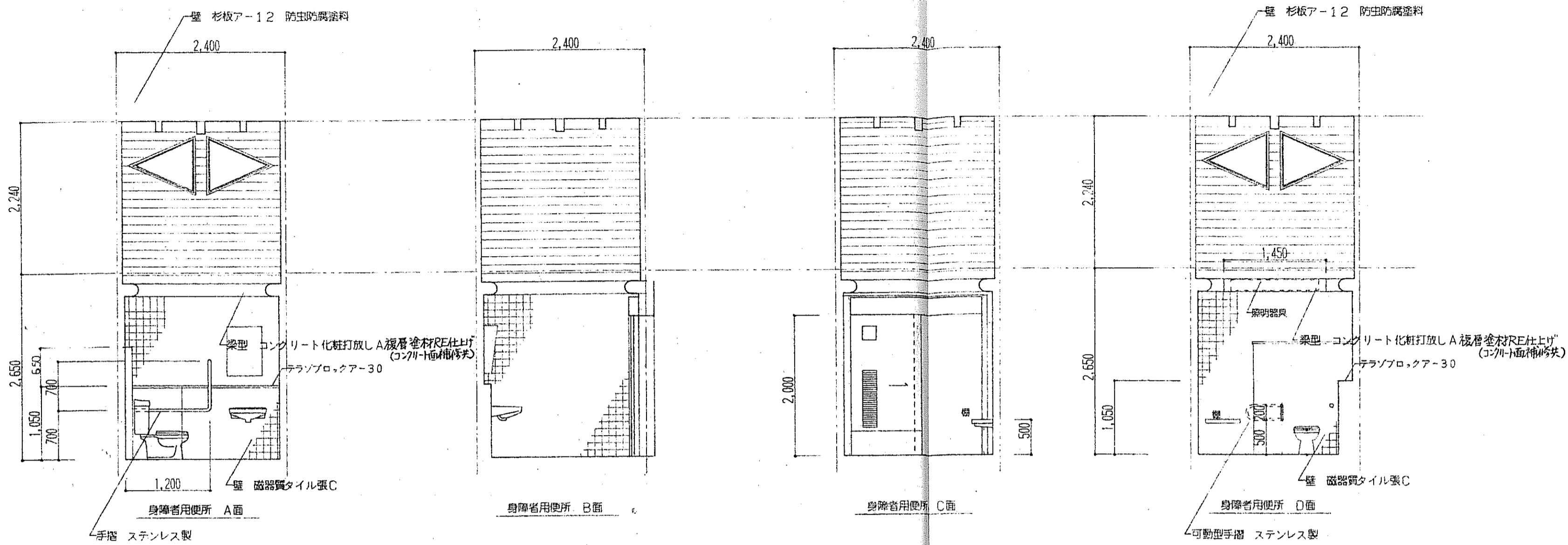
工事名
 交通安全施設等整備事業野外トイレ (君田村) 新築工事

図面内容・縮尺
 1階平面詳細図 1/50

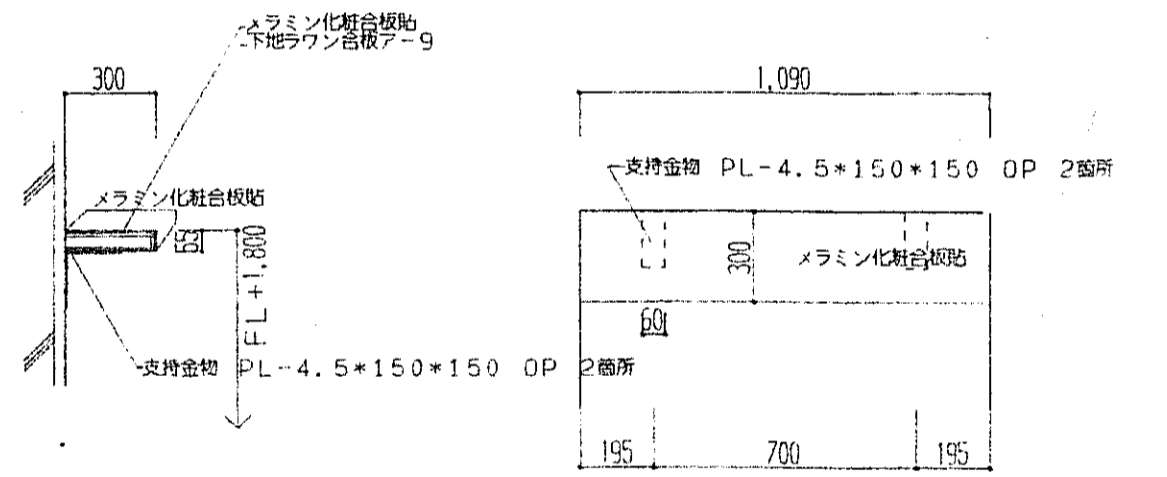
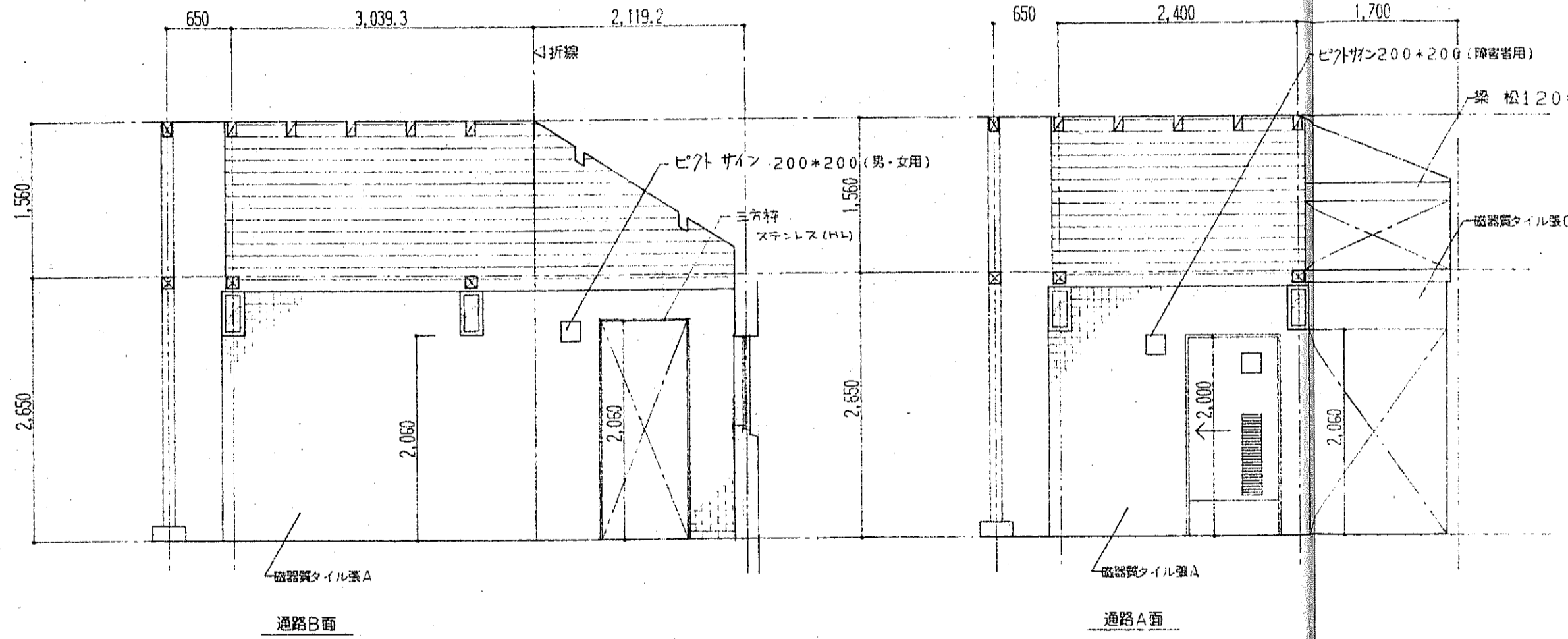
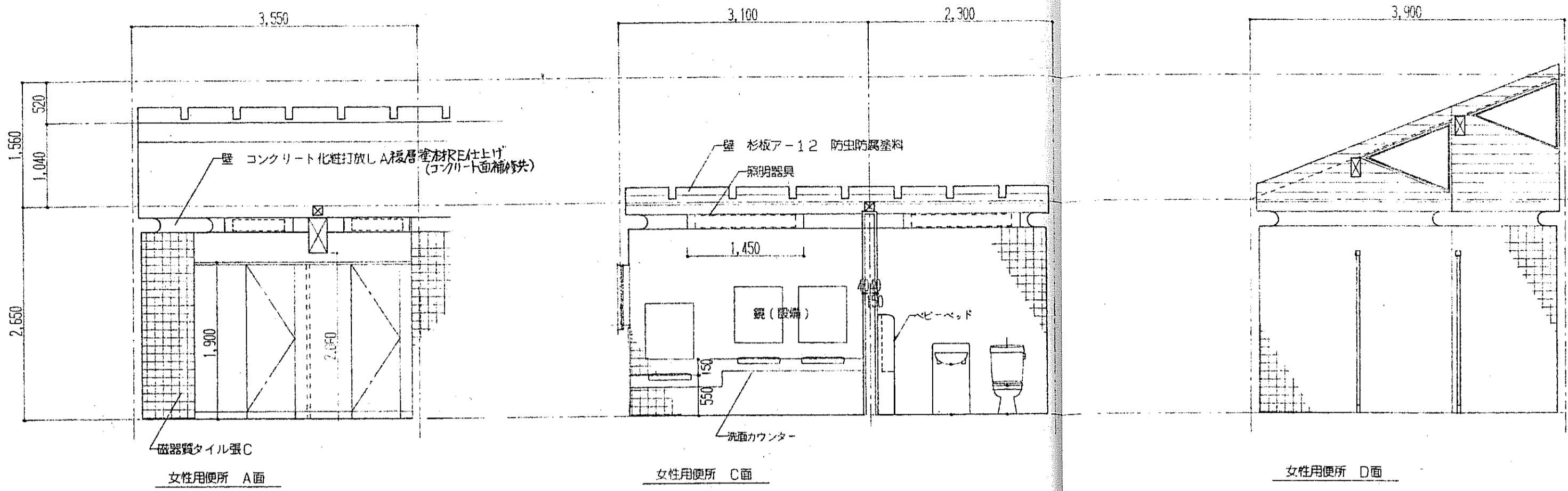
種別
 意匠

図面番号
 14/18

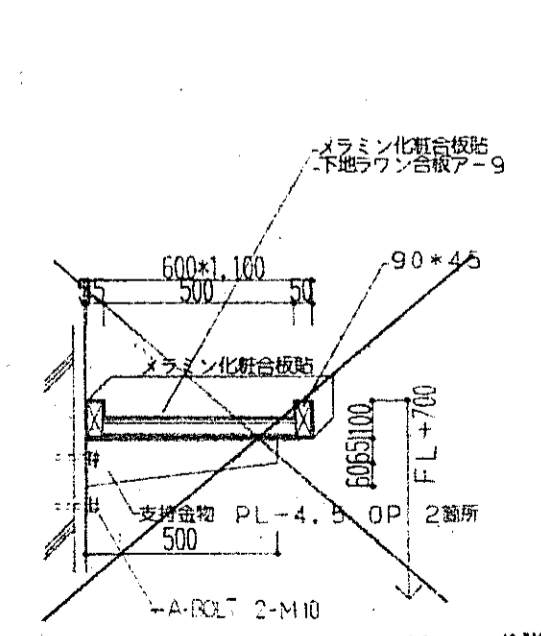
完成図



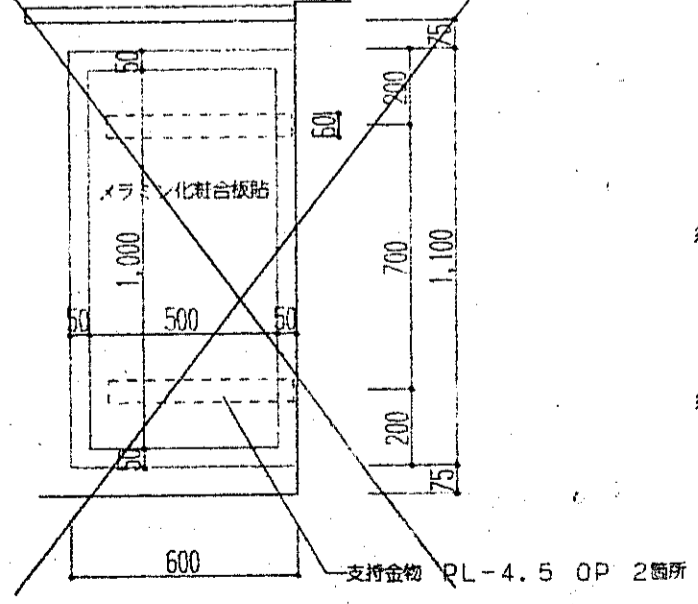
広島県土木建築部都市局営繕課 課長 主幹 課長補佐 係長 係員 	設計者・設計事務所名 (株)ヒロココンサル 1級建築士(登録 173903 号) 門脇 裕二 建築設備士(登録 号) 	総括 意匠 構造 設備 平成 年 月 日	工事名 交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事 図面内容・縮尺 展開図(1) 1/50 完成 図	種別 意匠 図面番号 15/15
	平成 8 年 6 月 28 日	平成 年 月 日	完成 図	完成 図



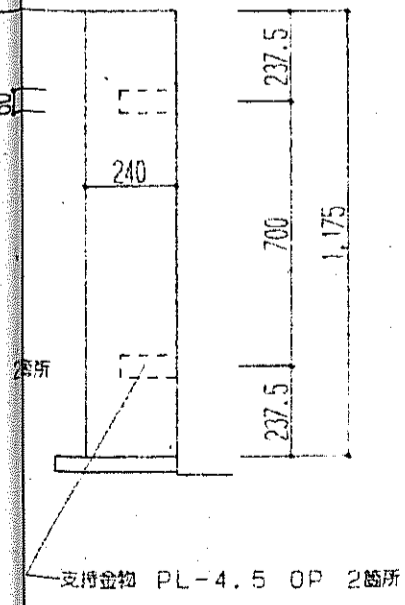
欄外通入
欄詳細図 1/10



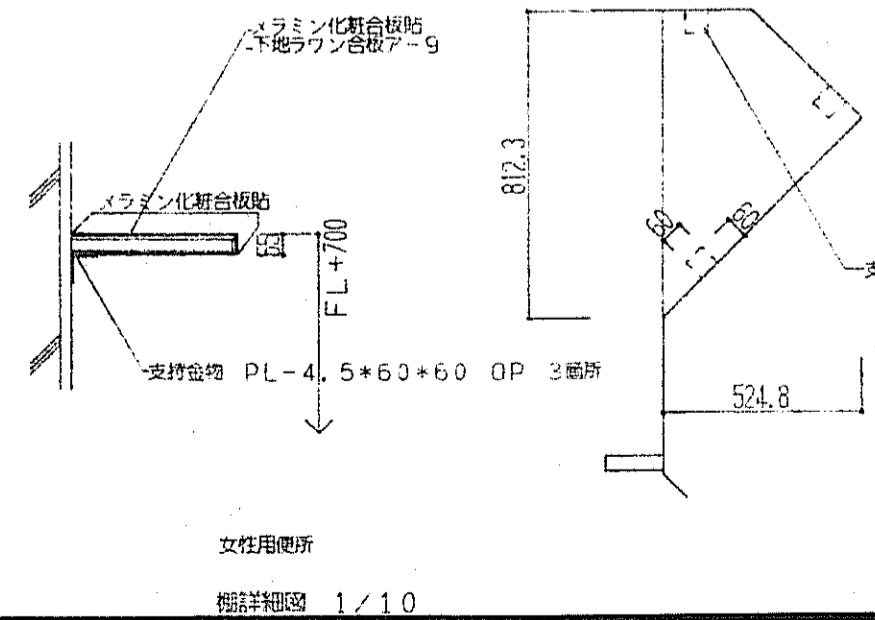
ベンチ詳細図 1/10 → ※TOTO YKAZO#SCI CYKAP20-S (取替用ワンセット)とする。欄詳細図 1/10 (壁・床面図定とする) (表示マーク見取りを含む)



男・女性用便所

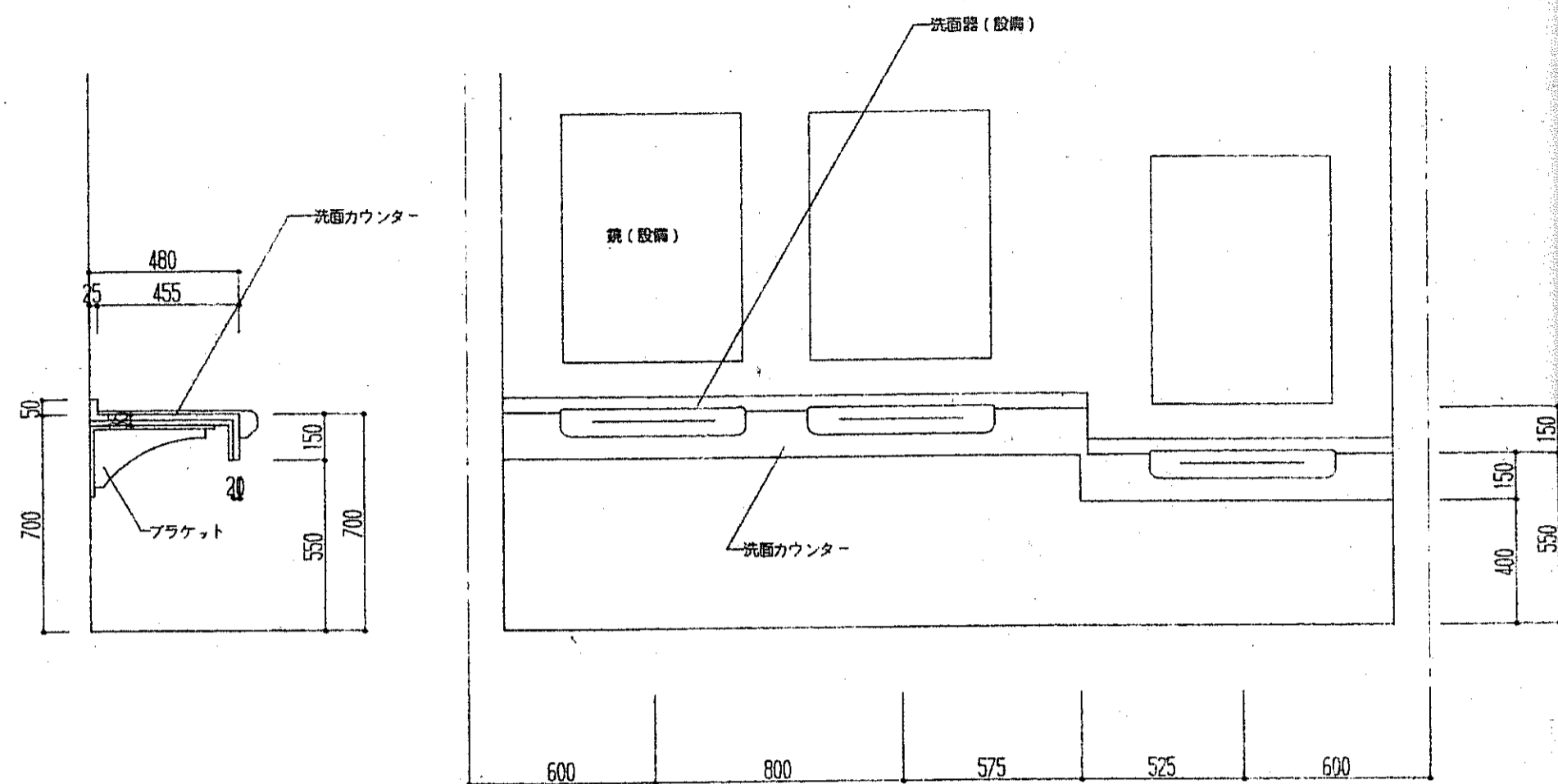


女性用便所



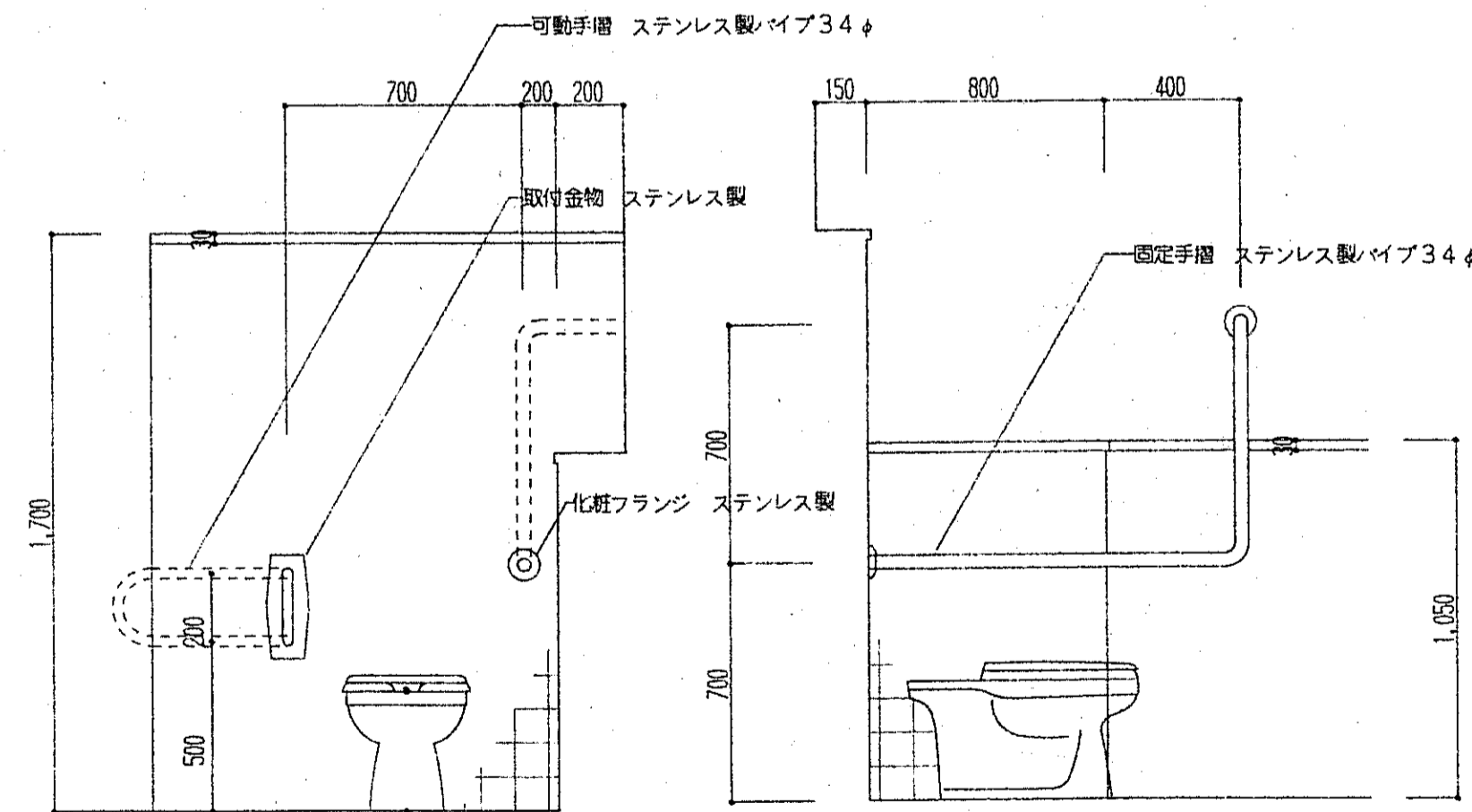
欄詳細図 1/10

広島県土木建築部都市局営繕課 平成 8 年 6 月 28 日	設計者・設計事務所名 (株)ヒロココンサル 1級建築士 (登録 173903 号) 建築設備士 (登録 号)	総括 意匠 構造 設備 平成 年 月 日	工事名 交通安全施設等整備事業野外トイレ (君田村) 新築工事	図面内容・縮尺 展開図 (2) 1/50 欄詳細図 1/10	種別 意匠 図面番号 16/16
	主任 課長 主幹 課長 補佐 係長 係員	平成 年 月 日	完成 図	完成 図	完成 図

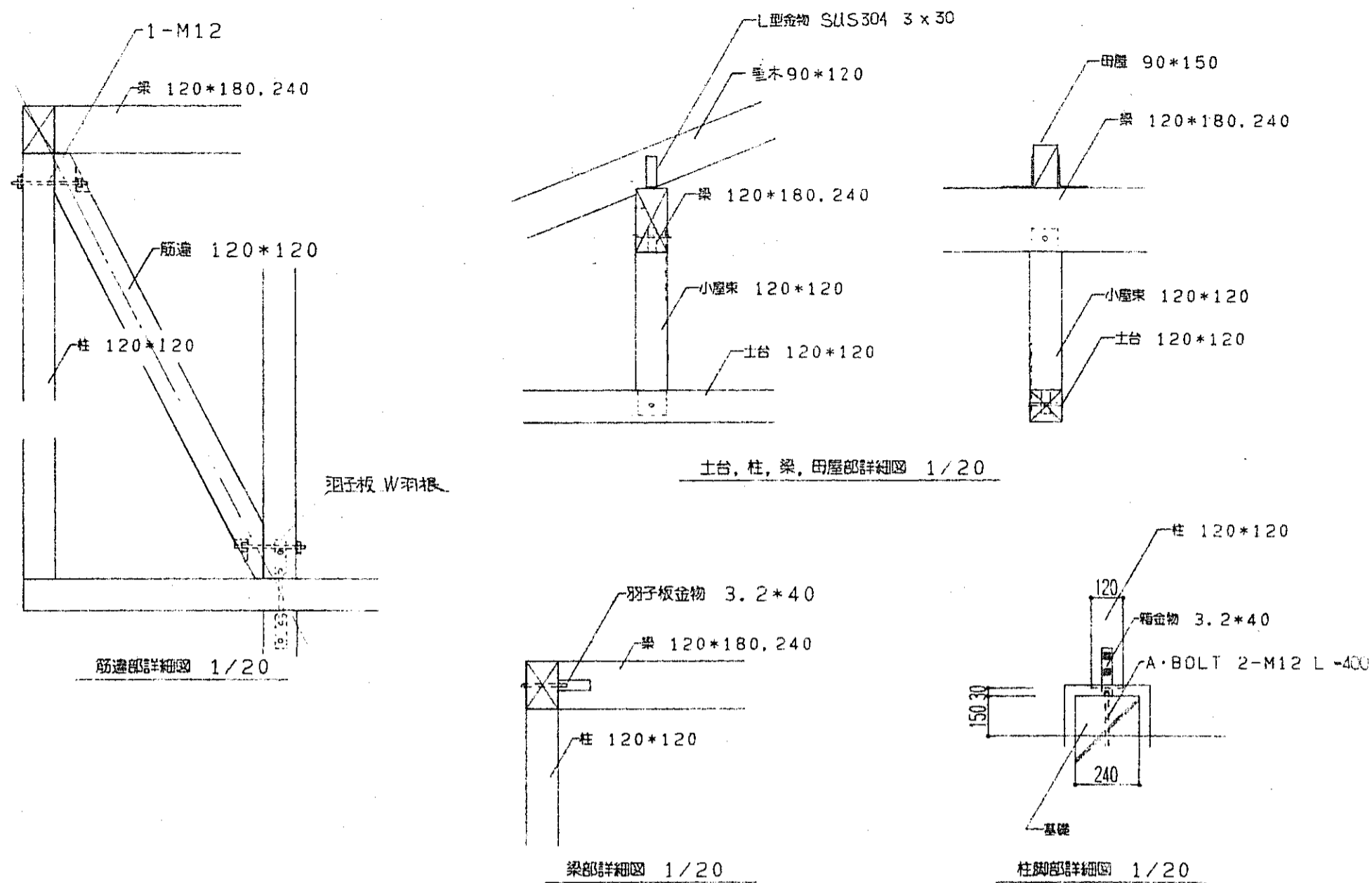


洗面カウンター詳細図 1/20

仕様 TOTO マーブルカウンター-ML20同等品以上
INAX アーペリイナカウンター-MB-500K同等品

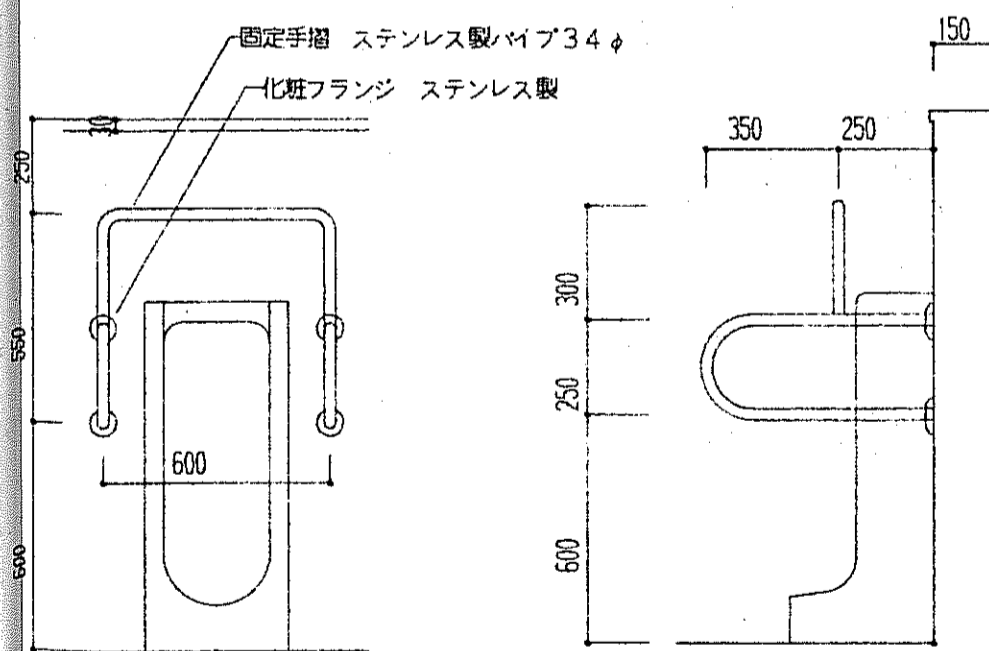


身障者用洋風大便器手摺詳細図 1/20

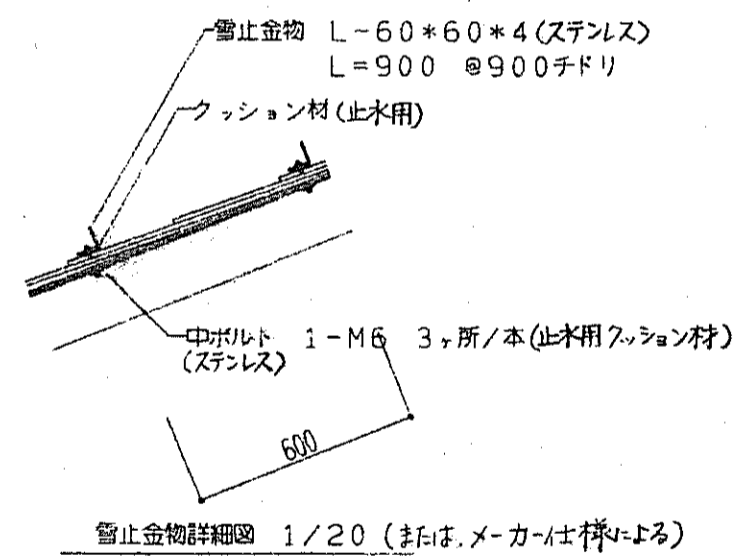


(特記)

- ・木部において、各種金物を固定するために使用する釘は、すべてスクリュー釘を使用すること。
- ・在梁等の継手は、建築工事共通仕様書(平成5年版)建設大臣官庁方等編部監修)を準用すること。



男性用小便器手摺詳細図 1/20

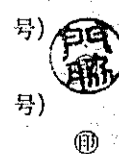


管止金物詳細図 1/20 (注は、メーカー仕様による)

広島県土木建築部都市局営繕課

課長	主幹	課長補佐	係長	係員
平成8年6月28日				

設計者・設計事務所名
(株)ヒロココンサル
1級建築士(登録 173903 号)
門番 裕二
建築設備士(登録 号)



総括	意匠	構造	設備
平成 年 月 日			

工事名
交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事

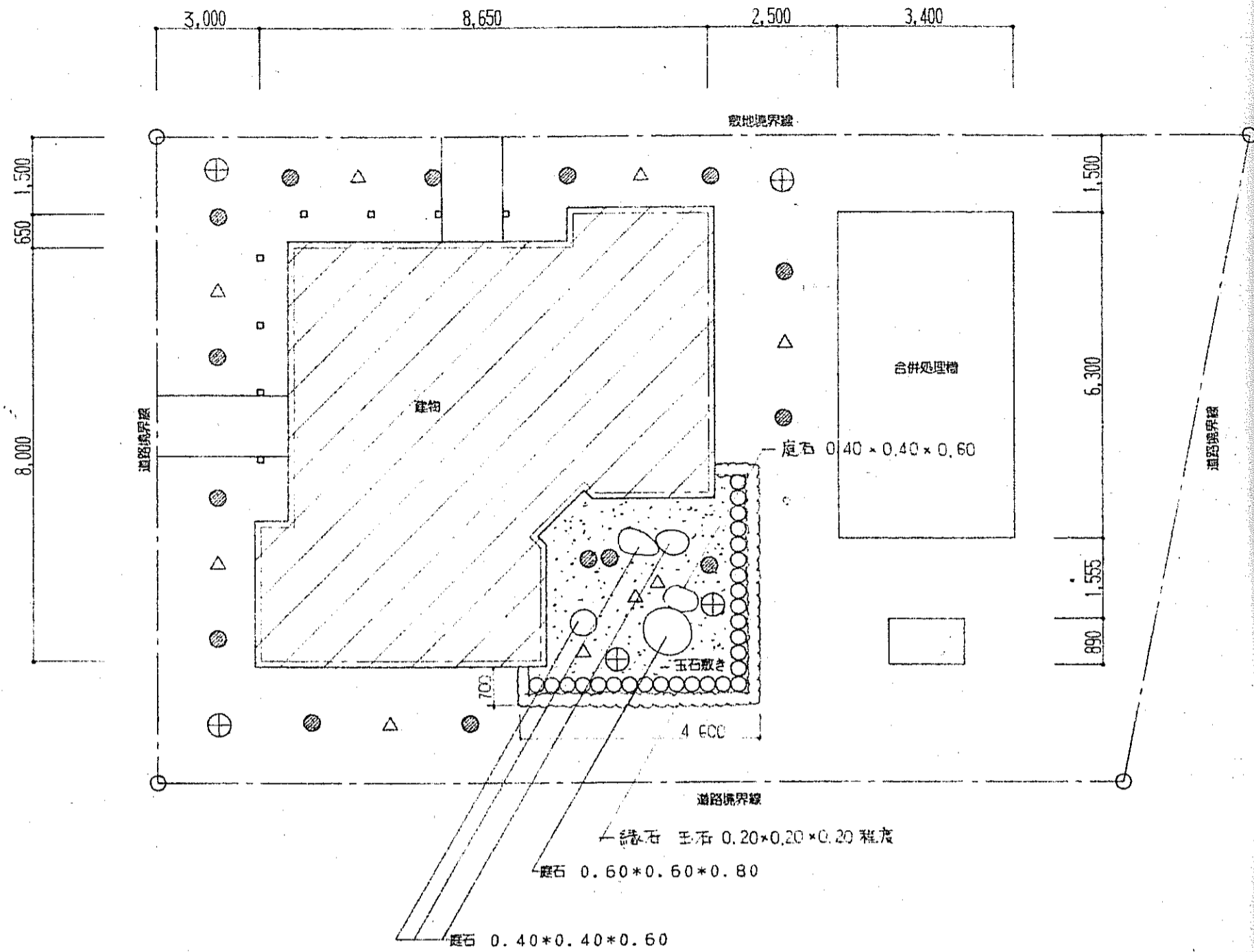
図面内容・縮尺
雑詳細図 1/20

完成図

種別
意匠

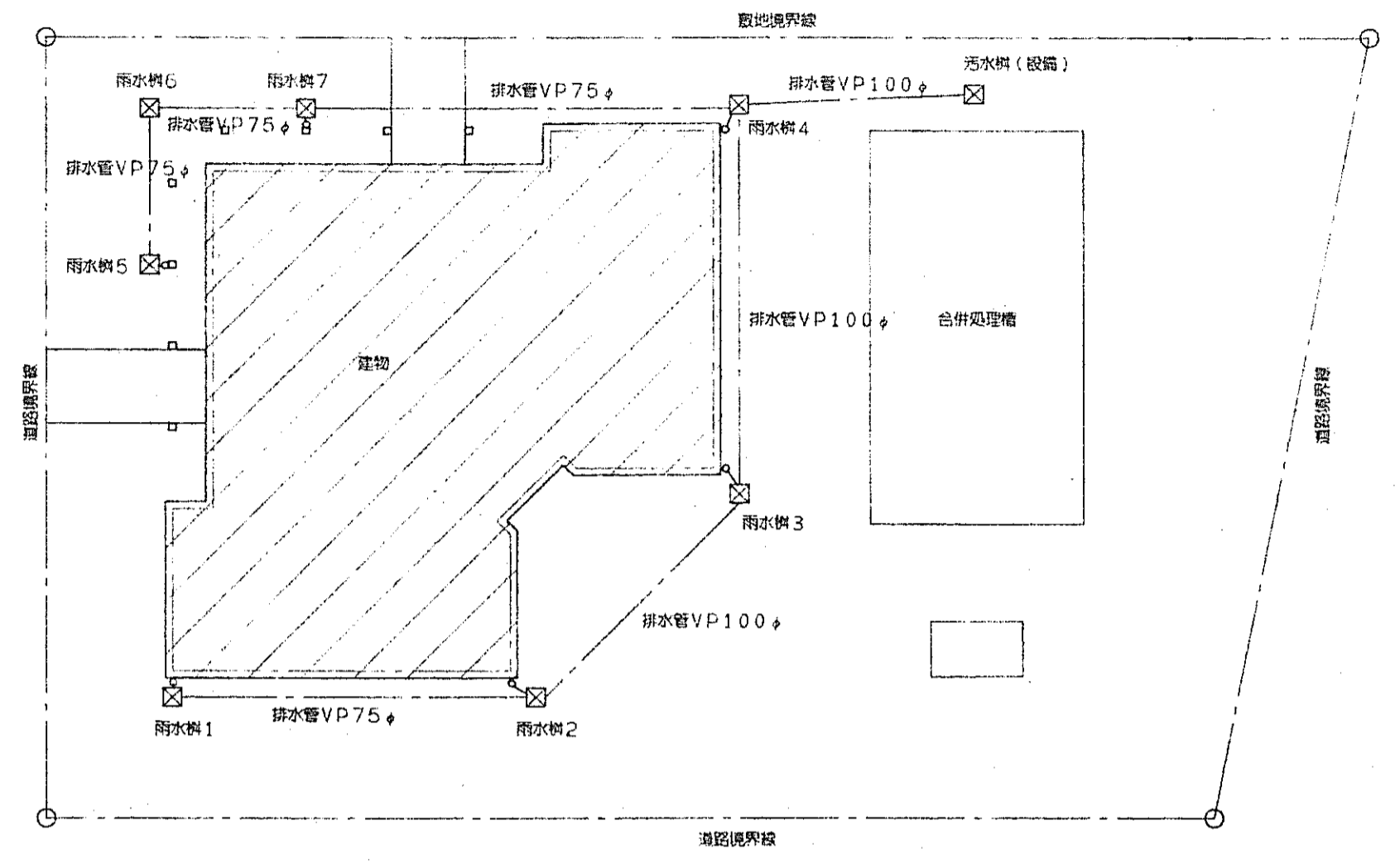
図面番号

17/18

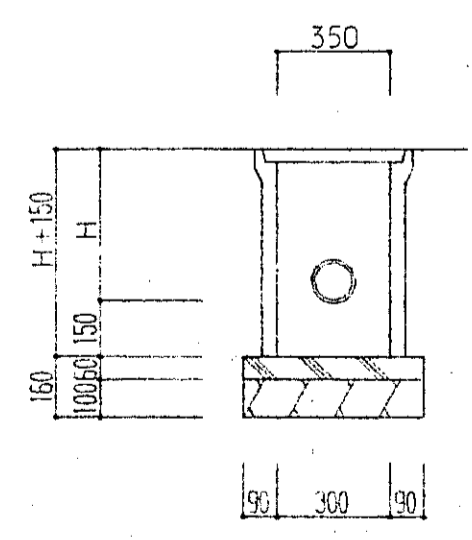
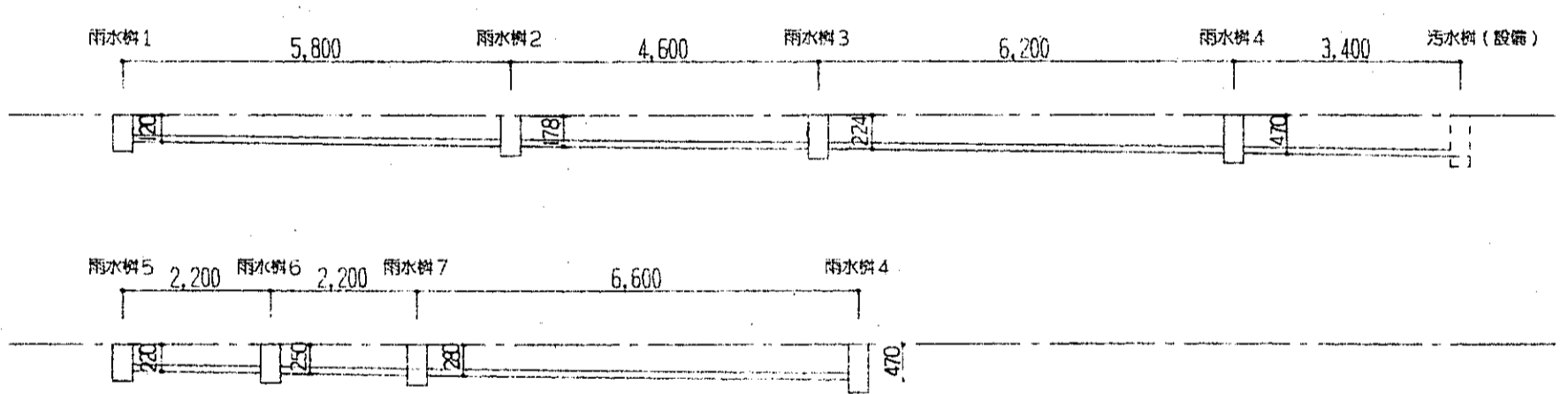


植栽・庭石配置図 1/100

- ⊕ サザンカ 1.50*0.40 三股和島尾崎木柱
- キンメツゲ 0.50*0.25
- △ ツツジ 0.30*0.40
- カイズカイフキ 1.50*0.20 布科支柱 唐竹末口2.5cm



雨水樹配置図 1/100



樹名	寸法	備
雨水樹1	コンクリート製成品 350*350*120	コンクリート蓋
雨水樹2	同上 350*350*178	同上
雨水樹3	同上 350*350*224	同上
雨水樹4	同上 350*350*470	同上
雨水樹5	同上 350*350*220	同上
雨水樹6	同上 350*350*250	同上
雨水樹7	同上 350*350*280	同上

雨水管勾配図・樹リスト 1/20

広島県土木建築部都市局営繕課	課長 主幹 課長補佐 係長 係員 	設計者・設計事務所名 (株)ヒロココンサル 1級建築士(登録 173903 号) 門番 杏二 建築設備士(登録 号)	設計者 平成 8 年 6 月 28 日	設計事務所 (株)ヒロココンサル 173903 号 杏二 建築設備士(登録 号)	設計者 平成 年 月 日	設計事務所 交通安全施設等整備事業野外トイレ(君田村)新築工事	図面内容・縮尺 植栽・庭石配置図 1/100 雨水樹配置図 1/100 雨水管勾配図・樹リスト 1/20	種別 意匠 図面番号 18/18
	完 成 日							